

○ 4-2 フィールドデーコンテストの日程変更

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JS1OYN	○	コンテスト委員会の入れ替え理由が合理的であるから。	○			21時始まりだと7MHzのスキップが始まっている。18時だとまだ生きている可能性が高い。				
JA3UVR	○	健康重視	○			終わりを早め疲労を取るため				
7L1EYY	○	JARL原案に記載の理由に賛成であり、内容も極めて整合性が取れており妥当なものであるため。地球温暖化の影響で近年の夏の酷暑は既に人が野外で活動するには危険なレベルまで達している。Twitterなどを見ると、準備段階で熱中症になってしまったケースが複数みられる。異常気象に加え、無線家の高齢化も影響していると思われる。政府が野外での活動を自粛するよう要請する中、コンテストを強行するのは無意味であり、万が一死者が出た場合、開催者であるJARLの責任は免れないであろう。故に、今回の提案は賛成である。昔からの伝統であるなどは無価値であり、現状の気象状況は過去とは全く異なる状況であることを強く認識すべきである。	○			撤収時の事を想定すると終了時間は早い方が余裕をもって帰宅できるため。				
JE7JCX	○	8月頭は、移動運用すると1) 時期的に暑すぎる 2) 虫が多く、車移動の際に窓も満足に開放できなく、時期の暑さに拍車をかけるため	○							
JE4OFK	○	安全第一、健康第一と考えることによります。	○			設営も撤収も日照時間内に効率的に行うことができることから優位であると考えます。 ・全市全郡が8月第一土曜日からの開催になっても一定数の屋外移動運用局があると想定されますが、当然ながら安全は自己管理で行うことです。			・全市全郡：2/22・21:00～2/23・21:00 (2020年以降の天皇誕生日) かつて全市全郡が体育の日の前日、10月9日21:00～10月10日21:00に行われていたことを考えれば、祝祭日の実施であれば日程的に問題ないと思われます。 ・寒い時期の国内4大コンテスト開催がないので(QSOパーティーは得点を競うコンテストではない)、春はオールJA、夏は6m&D、秋はFD、冬は全市全郡で四季のバランスがとれます。 ・8月開催に比べ、VHF帯のEsの期待は低くなるものの、冬から春に向かうHF帯の微妙なコンディションの変化が楽しめるのではないのでしょうか。 ・寒い地域の移動運用は厳しくなりますが、熱中症の危険は避けることが可能です。選択肢の一つとしてご検討ください。	
JH1TZV	○		○			FDコンテストには毎年「オールバンドモーニング(CAR)」部門に参加しております。 今年傘寿を迎え盛夏における移動運用は、熱中症対策をして仲間(全員70歳台)と複数人で参加しておりますが、体力的にも負担が大きく厳しい状況です。若い方々も同様ではないかと思っております。是非とも宜しくお願いします。				
JA1CPA	○	FDコンテストは40年以上前からJARL越谷無線クラブ(JF1YOI)で連続参加していて、今後も続けたいと思っています。メンバーの高齢化と健康維持のために酷暑を避けるべきです。	○			午後に撤収して、早く帰宅したい。 15時終了だと帰宅が夜になってしまうため。				
JA6JHH	○	数年前からこのコンテストの開催時期については違和感あり。野外に出て楽しむことを目的にしているのに体力勝負のサバイバルゲームのようだ。私も今年は参加断念した。かといって固定局から出るなどおもしろくもない。全市全郡コンテストとの入れ替え賛成です。時間は18時から12時まで 撤収の時間 帰路の時間があるので12時までなら帰ってからゆっくり風呂に入れる。	○							
JK1MLY	○	近年の猛暑を考えると8月は厳しい状況だと思います24時間の全市全郡を夏休みに行くことで、フル参加ができるクラブも増えるかと思えます。	○			開始は18時、21時どちらでも良いですが12時に終了であれば撤収に余裕が持てると思います。				
JJ5AKK	○	フィールドでの活動の意味合いが主旨なので、過ごしやすい10月開催がよいと思います。ここ近年は移動局が少なくなっただけですが、気のせいでしょうか？これらの改善により、少しでも参加局数が増えればと思います。	○			● 入れ替えに賛成で、FDコンテストの開催時間：18時から12時で従来通りでよいと思います 理由：10月は日没も早くなるので、早く始めて早めに撤収がよいと思います。移動する局に不都合な時間帯開催や、長い開催時間とするとお手軽固定局の参加が増えてFDとしては面白くありません。				
JO7MJS	○	FDで移動して参加していたのは40代後半まででした。比較的高台へ移動するのですが、炎天下の中で設営し、車中であったり、日よけしたテントの中での運用は、非常に辛く、以前からサマリー提出時に、日程変更をお願いしておりました。個人的には年齢が60代になり、FDの日程がそのままですと、移動運用での参加は無理と判断しています。出来ない事はないですが、体力的に長時間は無理と見送っております。	○			FDと全市全郡が入替した場合、10月は季節的に15時終了では、設備が大きい程、日が落ちて機材の撤収片付作業が残るはず。帰宅時間を考えると、やはり12時終了がベターかと判断します。				
JH1HGF	○	数年前に参加したときアンテナ設営時に熱中症になり3時間程度休み復活できたことがあり、7月から9月開催は非常に危険である開催時間も撤収から帰宅まで考えると12時終了が良いと思う	○							
7N3OEP	○	8月は熱中症を避けるために冷房の効く場所(自宅など)からQRVし、10月は暑さ寒さが厳しくない時期と考えられるので この時期に野外からQRVするのが安全かつ快適であると考えます。	○			気温が高い場合に 12時から15時までQRVし続けると熱中症などの危険性が高まると考えられます。このため、12時にコンテストが終了次第、出来るだけ短時間で撤収することが出来るよう装備する)技術もコンテスト参加の技術に含まれると考えます。また、撤収後の渋滞回避にも役立つと考えます。				
JH1MBI	○	熱中症予防から	○			翌日の予定に影響しないよう早めに帰途に着く為				
JE0GIH	○	気候を考えればよいと思う。	○			短いほうが集中して参加しやすい				

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由	
JE4YLV	○	フィールドデーコンテストは常置場所から離れキャンプに近い形で無線局を運用(いわゆる移動運用)し参加するのが主旨であるため移動すること自体が目的ではありません。この主旨の違いより全市全群コンテストにおいて移動する局であっても貸別荘やホテルなどの気候に左右されない移動力の参加を検討することができます。コンテストを入れ替える目的が猛暑である時期の野外活動の危険性を考慮したものであることから、入れ替えは適正なものであるという考えに至りましたので、賛成いたします。	○			コンテスト前の設備の準備調整は屋外作業含まれることが多いことから昼頃から開始し日没までに完了させることが多く、日没から21時の開始までは待機する時間が発生します。また、コンテスト後については、片付けや移動地からの帰宅などが早く完了したほうが翌日の学校や仕事などへの影響が軽減でき参加に対するハードルが下がると考えますので、上記の時間を希望いたします。					
JO1DGE	○	日程案 ● 全市全群コンテスト: 8月の第1土曜日21時～翌日の21時まで ● FDコンテスト: 10月の第2月曜日の前々日の18時～前日の12時まで	○			FDコンテストの魅力は大きいと思います。昨今の異常な暑さを考慮すると全市全群コンテストとの入れ替えが良いと思います。今年の全市全群コンテストは、大型台風に見舞われてしまいましたが、平均的には、野外での活動に適した時期と思います。開催時間帯ですが、18時スタート翌日12時終了を希望します。ローバンドを楽しむ者としての勝手な意見で恐縮ですが、3.5MHz帯を18時頃から楽しみたいです。					
JJ1MTG	○	理由: 気候の振れ幅が極端になっているのは事実。最高気温の記録を更新しつづけるような時期にやって事故が起きてマスコミ沙汰になってからでは遅い。たしかに秋には今度は超強力台風が来るが、こちらは予想ができるので山頂などの危険なところは取りやめてもらうように呼び掛けることで対処できる。猛暑対策としてはクーラーの効いた室内での運用しか打つ手がない。それなら全市全群の方なら問題はない。	○			10月はだいたい日暮れが早くなっているので設営や撤収の時間を考えると昼頃に終わるのが良いと考えるから。					
JA2JWH	○	移動する方が夏の酷暑期を避けるのは当然だから。	○			撤収を考えるとエンドを早めるのはありがたい為。					
JH7VVR	○	事故のリスクを避けるには、よい方法だと思う。 且つ2020年の8月1週については、野外運用による電波品質低下を避けるべきだから。	○			できるだけ夜間撤収を避けたほうが、安全だから。					
JA8ALT	○	毎年フィールドデーコンテストでは、当該コンテスト開催の本来の意義が、非常事態下での機動運用能力の訓練と確認に在るものと認識しているため、敢て、商用電源が得られず、日射を避ける家屋も無い、水道もトイレも食料品店等も無い、無い々尽くしの山野に移動して運用する事を、過去55年間 信条として来たが、昨今の地球温暖化傾向に伴う異常気候に拠る夏場気温の異常な上昇と、私自身を含めたアマチュア無線家諸氏の平均年齢増加/高齢化に伴う体力低下も相まって、当該コンテストに於て、自分も含め熱中症等に見舞われて命の危険が発生する状況に陥りはしまいかと云う懸念が、この数年間は気遣われる状況となって来たので、FDコンテストの日程変更をJARLに具申すべき時が来てるものと考えしていた矢先なので…。又、フィールドデーコンテストのみでの開催期日を変えようとする、指摘の様に他のコンテストとの開催日が競合/重複してしまうので、全市全群コンテストとの開催期日入れ替えが妥当な考え方だと思う。 [開催時間]: 18時～翌日12時 が妥当であろう。	○			[開催時間]: 18時～翌日12時 が妥当であろう。					
JR8OGB	○ 条件付	FDをALL ASIAN(SSB)の日程へ、ALL ASIAN(SSB)をACAGの日程へ、ACAGをFDの日程へ、それぞれ変更する。FDを10月に持って行ってしまうと、6mやHFハイバンドのオープンがほとんど期待できなくなるため、地方から上位入賞することが困難になってしまいます。また、10月に入ると北海道の場合天候によっては、山上は雪が積もる可能性があります。ALL ASIAN(SSB)を10月に持って行った方が、CONDXが良いので今まで以上に盛り上がる様に思います。日程的には、オセアニアコンテストと被りますがオセアニアコンテストは、CWのみとなりますので問題はないと思います。	○			6mやHFハイバンドのオープンを考慮すると現行の開催時間が良い。また、時期が遅くなると日暮れが早くなり屋外で設営出来る時間が限られるため、開始時間を遅くしてもあまり意味がないと思います					
JH3AGV	○	● その他意見 FDを旧AA DX PHの開催を9月に。(10月では、北のエリアの移動が困難?) AA DX PH の開催を10月に。(10月のDXシーズンに合わせられ参加者増が見込まれる。) 全市全群を8月に。(屋内中心で、ハイバンドもEスポでの交信が期待でき、都市部と地方部の格差が縮まる可能性があるかも。) それぞれ入れ替え希望。 ● 入れ替えに賛成の場合、開催時間: 21時から15時 を希望。もしくは21時から12時でも可。 18時開始、12時終了の場合、アンテナの架設が炎天下の最中となり危険。15時終了の場合、アンテナ撤去時夕立雷雨に見舞われる可能性もあり、開催時間は短くなるが、18時～12時を推薦します。		○	21時-12時						
7L2LEG	○	6m&Downからの開催間隔が短く、暑い盛りで体力的な消耗が激しく、正直やってられない感が今の疲労感だけが残る、できればやりたくないコンテストだから。		○		現在の18時開催は日中から準備をする必要があり、体力的な消耗が激しすぎる。過酷すぎる時間設定であるから。					
JJ4KME	○	10月の方が移動運用に適していると思うため		○		10月は行事の多い時期であり、日中の行事を終えて参加できる可能性が高まると思うため					

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JG1XUZ	○	8月の第一週末は暑さのピークで、北日本を含めて35度超が珍しくなくなった現在では、野外活動を推奨するような行事は非現実的と思います。また、全市全郡が移動運用を禁止しているわけでは無いので、移動運用でせコンテストに参加したい局への妨げにはならないと思います。		○		18時スタートは、夕食などの兼ね合いから不適切に思います。				
JF1MIA	○	8月は猛暑で屋外の活動は危険なので、FDは8月以外にすべきです。		○		屋外での設営、撤収を考えると21時～15時がちょうど良い。				
JE7HOU	○	確かに8月は暑いので入れ替えは良い事だと思いますが、10月はVUの電波が飛ばないので結局フィールドデー参加者が減ってしまうという事が考えられると思います。		○		週休二日の方も多いとは思いますがまだ土曜日仕事の方も居ます。21時開始はそのような方も参加できる時間だと思います。				
JA4TUJ	○	変更案の理由に書かれているとおり、趣旨に賛同します。		○		18時開始に変更した時の理由が、暑さ対策を兼ねていたように思います。開催時間については、他のコンテストと同様に元に戻すことを推します。				
7N3GJC	○	・炎天下で設営作業し、徹夜で運用して炎天下で撤収作業をすることにより、今後、不幸な事故が発生することが想像できます。また、近年の異常な猛暑により移動運用をためらう方もいらっしゃるようです。そのため本来の「野外に出て無線を楽しむ」という趣旨が達成されないことになっています。FDコンテストで多くの局が常置場所から出てきても意味がありませんから、多くの局が移動する気になる可能性の高い10月開催が適当だと考えます。		○		・FDコンテストを18時間で開催するのであれば、せっかく移動したのにまだ陽の高い12時終了ではもったいないので終了時間を15時にしてほしいと思います。したがって開始は21時になると思います。				
JA3MIB	○	● 全市全郡コンテスト:8月の第1土曜日21時～翌日の21時まで ● FDコンテスト:10月の第2月曜日の前々日の18時～前日の12時まで (あるいは21時～15時まで) この理由としては 1. 10月中旬は温暖で、野外活動の適期である。 2. 7月の6m AND Downコンテストとの入れ替えだが、梅雨期であり、積極的に移動を 勧められない。実際には移動する局は少なからずあり、6m AND Downコンテストを 8月に実施することは熱中症予防上意味がない。 3. 6月のAA DX CW、9月のAA DX Phoneを真夏に実施することはコンディション的に ふさわしくない。 4. その他の月に変更するにしても、すでにほとんどの週末に国内もしくは海外コンテスト が行われており、割り込むことは控えたい。です。8月のFDコンテストは、学校クラブや地域・職域クラブなどで親睦を兼ねた行事として定着しているところも多いでしょうが、参加者の健康を第一に考えていただきたいと思います。 ● FDコンテストと全市全郡コンテストの入れ替え:大賛成です。(いずれの場合も理由の明記をお願いします) 理由:昨今の異常気象では当然。 ● 入れ替えに賛成の場合、開催時間: 21時から15時(いずれの場合も理由の明記をお願いします) 理由:少し足を伸ばした移動で余裕がほしい。		○						
JA1KHV	○	「FDコンテスト」と「全市全郡コンテスト」を入れ替える案に大賛成である。 「FDコンテスト」では野外運用を提唱している訳で、その準備や撤収時間を含めば当然、昼間の灼熱の中での作業での危険性が伴う為、適切な時期への変更が最大の解決方法と考える。 「FDコンテスト」が10月開催となれば、実施時間帯は21時～15時に戻した方が良い。ただし「オールバンドモーニング」なるカテゴリーは、10月開催のFDコンテストでは不要と考える。 「オールバンドモーニング」など軽く参加できるカテゴリーを設けるならば、時間帯を再考して24Hコンテストに設けるべきである。		○						
JG3LDD	○	FDコンテストと全市全郡コンテストの入れ替え:賛成 暑さの問題を優先的に考えると、そもそも「入れ替え」にも反対。この時期のコンテストは困難。		○		入れ替えに賛成の場合、開催時間:21時から15時 各バンドの伝搬時間を考えると15時まで				
JO3OMA	○	子供達は夏休み期間中で参加しやすいコンテストだったので、8月にコンテストが開催されるのであれば、入れ替えでも問題無いでしょう。		○		秋口でもあり特に早める必要性を感じませんので、戻しても問題無いと思います。				
7M1GYH	○	フィールドデーコンテストの目的は、JARLコンテスト委員会が言われている通り「野外に移動して運用するアマチュア局との交信をはかるため」であり、近年夏季における外気温上昇が上記目的の阻害要因になると考えます。時間帯を21時～翌15時とした理由は、8月に比較して10月の場合はハイバンド+6mの国内DXの機会が増えると考え、こちらの時間帯を選択しました。		○						

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JK1VUZ	○	移動運用が好きな局は、フィールドデーも全市全郡も移動して参加しますので、入れ替えても実質は変わりませんが、それぞれのコンテストの目的に合致した時期にすべきと考えますので、日程変更には賛成です。また、全市全郡を8月にすることでEs発生によってVHF部門でマルチ獲得の楽しみが増えると思います。		○		(日程が8月でも10月でも)。山岳移動の場合、夜間の移動は危険が伴いますので開始時間は18時でも21時でも同じことです。終了時間は、8月開催の場合は何時でも暑さの影響は変わりませんが、10月開催の場合は8月より日没が早くなりますが15時であれば撤収可能です(関東)。あわせてモーニング部門についても再考を希望します。フィールドデーに日中のみ参加の部門を設けることは大賛成なのですが、公共交通機関を使って移動する場合、6時に開始することは非常に困難です。フィールドデーの開催時間を21時～15時に戻したうえで、日中部門を9時～15時とすることを提案します。				
JR2IGA	○	本案であれば翌日が祝日のため、15:00から撤収開始、移動先から帰宅しても翌日の仕事に影響しない。なお、本年のように当時期に台風接近などの大規模災害が予測された場合は、主催者側で中止・延期を宣言していただくとよいと思います。		○		18:00～だとコンテスト開始前にクラブメンバーとの親睦夕食会を楽しむ時間が無い。				
JA3TVQ	○			○		夜も通して運用するのは グループの宴会つきか トップ狙いの猛者 数から言えば 宴会付きのほうが多く 楽しそうに思えます。宴会時間の3時間欲しいです。				
JK1USO	○	環境省熱中症予防情報サイトの暑さ指数データに同感する。		○		移動運用が目的のコンテストと認識しているので、18時スタートとなったが、車でのフィールド移動ではなく、ハンディ機担ぎ上げでの移動の場合、夜であることには変わりなく、山岳移動などでテント場では周囲の迷惑となり、テント場以外での単独移動は別の意味で危険があり、実際、翌朝からの参加となってしまう。単独登山移動の面でも考慮してほしい。更に、12時終了では、参加時間が短くなってしまい局数が確保できない。かといって21時終了では、移動局の撤収片づけ時間が夜となり安全面での問題も出てくるのかと思う。				
JJ1HHJ	○	市郡区がマルチプレイヤーとなるコンテストが夏季に移動することで、V/UHF帯辺りがよりエキサイティングになると思われます。また、野外活動をフィールドデーの重要な趣旨とするのであれば、昨今の気象状況からは8月より10月の方が比較的好ましいと考えます。		○		酷暑を理由に開催時間を微調整した経緯からすると、「温暖」な開催日程に移動するのであれば、元の時間とするのが筋かと思えます。				
7N4XCA	○	私は、夏場の対策としては非常に良い提案だと思います。「酷暑の中で開催するのがFD」と云うイメージもありますが、体温と同等の暑さには既に耐える自信がないです。		○						
JA1OLP	○			○						
JA1PZD	○	真夏のFD(に限らずクラブのコンテストイベント)は、もう限界だろうと感じていました。電通大とのコラボの部分はたぶん削がれてしまいますが、やはり安全あつての活動です。		○						
JE1CKA	○	8月は今後も酷暑が続くことが予想され、40度近い暑さの下での屋外作業は生命の危険さえある。10月は台風の可能性もあるものの天候として屋外作業には適している。		○						
7L3XKW	○	FDのコンセプトって気軽に野山に出かけて交信を楽しもうと企画されたものだと思います。であれば、気候のよい春秋の行楽シーズンに開催がふさわしいと思います。亜熱帯化した今の日本で場合によっては死に至る熱中症を危惧しなければならぬ夏は避けるべきです。		○						
JA3AVO				○		21時～15時」に戻して欲しい。 理由：設営時、気温の高い時間帯が長くなる。 夕食(&懇親=重要です)に十分な時間を取れない。 撤収が気温の高い時間帯になる。			常置場所同士の交信は「無効」に戻すべきである。	理由：FDの趣旨に合わない。 日程の入れ替えを行うなら「FD & down」も選択肢に入れるべき。 理由：「全市全郡」のみを誘導的に設定するのは、結論ありき。全市全郡の時期は北日本は移動運用に不向き。
JA1RRA				○		真夏(8月)の移動運用は健康面から考え10月に移す案に賛成です 時間帯は移動時の設営・撤収を考え21時～15時が良いと思えます				
JA5QYR	○	ご提示されている変更の理由は極めて妥当です。むしろ、変更が遅すぎと言っても過言ではありません。		06時-15時		Eスポの期待が薄い時期で、地方ではVUIは長時間必要ない。平均年齢が高齢化していて、移動地で徹夜は非健康すぎる。短いほど発発の燃料も少なく済み安全。短時間部門は廃止。				
JA5EXN	○	入れ替えには、賛成です。		18時-15時		入れ替えるのであればFDの時間は、18時～15時が良いと思います。 15時に終了しても熱中症の心配がないですし撤収も明るいうちにできます。入れ替えた場合、全市全郡でも移動する局は、居ると思いますので今のFDよりさらに危険になります。そこで移動の局は、時間を18時～10時程度にして別枠でアワードを出すのは、どうでしょうか？入れ替えた場合の全市全郡の移動局の何らかの配慮は、必須だと思います。				
JN4USF	○	酷暑での屋外運用は危険であるから。また、参加局が増えることを期待するため。		18時-15時		勤務等の都合で夜間は運用できない、または、日中は運用できない等の局にもなるべく公平になるようにするため。				
JS6EAQ	○	10月の方が移動はやりやすいので暑さ対策の意味ではありかと思えます。		18時-18時		日曜日のみの参加者もいらっしやと思います。 長時間の参加が好ましくないのであれば、24時間のうち、15時間とか12時間とするルールを設けるのもいいかと。				

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
J11BIF	○	FDコンテストは気候が安定した10月に変更して下さい。高齢者対策が欠如しています。全市全郡コンテストは今までのFDコンテストの暑い時期にして高齢者の多いアマチュア無線士の参加負担少なくして下さい。								
JK3UFY	○	夏場の暑い時の移動はたいへんです。昔は涼しくて夜は気持ち良かったのですが、近年は、暑い夏が続いています。ぜひお願いします。								
JA9NOF	○	開催日 < 案通りでも良い > 時間 < いずれも可 > 私は、毎年参加していますが、山岳移動運用なので、現行がベストです。FDが10月に移設されても、山は冬状態であり、山小屋も閉鎖されているので、10月FDには山岳移動はできません。8月第一週は、暑いかもしれませんが、晴天率が高いので、現在、8月FDで参加しています。また、8月といっても、山頂は寒い時が多いので、山岳移動派には、熱中症はあまり問題ではありません。よって、仮に全市全郡が8月第一週になったら、全市全郡に参加します。移動運用を「楽しみに」してしますので、ポイント上の不利は、問題にしません。(そういう学校や職域が多いのでは?) 本当に、熱中症問題解決のためであれば、8月には実施しないことになるでしょう。山岳移動派としては、8月第一週の全国コンテストは残してほしいです。開催時間は、皆さんが同じ条件ですの、いずれも可と思います。								
7K1III	○	8月初めは猛暑で屋外での活動は生命の危険を感じて移動する気にならない。								
JA1CTZ	○	全市全郡コンテストとの入れ替えには賛成でも反対でもありません。熱中症予防という事であればALL JA コンテストとの入れ替えも検討の余地があると考えます。示された理由から入れ替え日程案を全市全郡コンテストの日程に限定しなければならぬ理由が読み取れませんでしたので、賛否の判断が付きませんでした。								
JH8UUR	○					単純な入れ替えは賛成出来ない。8月に行う事が、高い確率で熱中症に罹るリスクを抱える根本的原因である。V・UHF帯で参加する場合、標高の高い所に行くが千メートル位の所でも8月は暑い。従って8月のコンテスト開催は終了して、全市全郡コンテストを9月中旬、FDコンテストは10月上旬に開催する事を希望する。上旬を希望する理由は、北海道は10月中旬だと標高の高い所は寒いので、山頂でのコンテスト参加は厳しい。		開催時間は両方共土曜日の15時から日曜日の15時までを希望する。	理由は21時からだと、翌日の夜明け前に出発する場合、蓄電池の充電が間に合わない。15時開催だと20時頃まで参加して帰宅し、すぐに充電を始めると早朝の出発までには完了出来る為、15時開催を強く望む。	
JO1FRI	○					全市全郡コンテストの入れ替えでも、8月に行うのには変わらない。(熱中症予防上意味がない)移動局は必ずいるので、かえって、長丁場になるので改悪。		FDコンテストの開催時間は21時から12時	開始18時では、開催が早く準備が日中となる。終了時刻は12時のままとして、撤収などに時間を十分にとる	
JA1ABC	○					全市全郡コンテストの現在の日程は定着しているものであり、全市全郡コンテストの日程を変えることによる新たな問題が発生するため		6m & Downコンテストと合体し、6m & Down+フィールドデーコンテストの日程を関東地方の梅雨明けの平均日である、7月の最終土日とする。	コンテストの開催を一回でも減らすことによるJARL職員とコンテスト委員の業務削減。賞状・発送経費の削減。	
JF4CAD	○					単なる日程の入れ替えでは全市全郡コンテストに移動運用で参加している局にとって危険なことに変わりはなく、意味のない入れ替えです。		海外のコンテストで行われる形態「初日15時から翌日15時まで、その中で最大15時間」	各人や地域の実情に合った参加ルールにするのはどうでしょうか？	
JP1LRT	○					いずれのコンテストも移動者はいます。入れ替えれば良いという発想はないでしょう。FDコンテストの移動が暑い中行われることへの危惧、あつてしかるべきでしょう。しかし移動する側の健康管理問題は本人が責任を持って行うべきことであり、主催者側が事細かに配慮すべきことではないかと思えます。FDコンテストの開催時間を過去のものに戻してはいかがでしょうか。モーニング部門は名前を他の物に変え、9時から15時にするとか、任意の6時間にするとか。				

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由				
JA6HQQ							○	日程案を考えた人に「FDコンテストは野外の移動運用、全市全郡は屋内の運用」という根拠のない思い込みがあるのではないかと。両コンテストを入れ替えただけでは、学校クラブや地域・職域クラブの行動パターンは何も変わらないと思う。特に学校クラブにとっては夏休み期間の野外活動に出掛けやすい時期であり、FDが全市全郡に入れ替わっても、かえってマルチを少しでも多く獲得しようと考え、FDの時と変わらない(あるいはもっと過激な)移動運用計画を立てると考えられる。健康面を考えるならば、真夏開催のコンテストを「野外での運用禁止」にするとか、「日中は運用時間帯を設けない」などの思い切ったルール変更をすべきではないのか？ FDと全市全郡の日程入れ替えは安易すぎる机上論と考える。両コンテストの参加者数、移動運用と固定運用の構成割合など基礎的な統計データは収集しているのか？						上記記載の通り、FDコンテストと全市全郡コンテストの日程入れ替えなどという安易な改善案が出てくること自体、JARLに知恵がないことの証だと考える。
JA3HBF							○	入替には『大反対』である。 理由1: 北日本におけるACAGの時期はもう移動運用に適した時期とは言えない。高い山では既に冠雪しており非常に危険である。夏の熱中症はきちんとした対策をすれば回避できる。 理由2: そもそもFDがこの時期に設定された経緯をご存じか？その当時のコンテスト委員の方から伺ったが、梅雨明けのこの時期が天候が安定して移動運用に適しているからこの時期に決定されたと聞く。 理由3: 現行の時期であればEsの発生も期待できるが、ACAGの時期になればそれも期待できない。 FDの開催日程よりも開催時間帯及び、ホームステーション間の得点を認めない元のルールに戻すべき。多くのクラブはFDを親睦を深める機会としているところが多く存在する。その時間をアンテナ設置後コンテスト開始までの時間帯を親睦会としている所が多い。(私が所属している登録クラブも同様であったが、時間変更がされてからはクラブで移動運用するのは取りやめとなった。) ホームステーション同士の得点はこのコンテストの開催意義を考えれば不具合極まりないことは誰にでも分かることである。 前回のルール改正はその手続きに疑義がある。その当時のコンテスト委員に聞いたが、きちんとコンテスト委員会で討議されていないと言った。一旦元に戻して再検討すべきである。さらに改正後のサマリーに記載されたコメントを前コンテスト委員長からいただいたが、元に戻すようにと言う意見の方が多く見られた。サマリーに記載された意見は実際にコンテストに参加した人のものでありもっと重要視すべきである。前回のルール変更は最悪の改訂であり、その「改悪」の上塗りとならぬよう希望する。					どうしても変更したいとなれば6m & Down (6D)コンテストとの入替しかない。	梅雨期との指摘もあるが6Dだって移動運用が主体となる。これに反対する理由とはなり得ない。
7L1FFH							○	ALL JAコンテストとFDコンテストの入れ換えがふさわしいと考えます。例年 4月より 10月のほうが日本列島に台風が接近・上陸する可能性が高いこと。				JARL 主催するコンテスト開始日以内での入れ換えが可能であれば、 4月 FDコンテスト 6月 ALL JA コンテスト 7月 6m AMD DOWN コンテスト 8月 全市全郡コンテスト 9月 ALL ASIAN DX コンテスト 電話部門 10月 ALL ASIAN DX コンテスト 電信部門 を提案します。 開催時間:21時から15時を支持します。 コンテスト当日朝から設置し、18時までに設置完了するのは、シングルオペマルチバンドにて参加の場合、かなり時間が短い可能性があります。設置後、休憩ないままコンテスト参加はつらい場合が考えられます。もし、18時開始を死守するのであれば、コンテスト開催時間を18時から24時+翌朝6時から12時 までの12時間にするというのはいかがでしょうか。 4月 FDコンテスト 機構が6月、8月、10月に比べて良いため 6月 ALL JA コンテスト Es シーズンまったただ中に国内コンテストを行いたい。 7月 6m AMD DOWN コンテスト 現状と同じため、理由割愛 8月 全市全郡コンテスト JARL 日程案 のため、理由割愛 9月 ALL ASIAN DX コンテスト 電話部門 現状と同じため、理由割愛 10月 ALL ASIAN DX コンテスト 電信部門 日程案にも記載ある通り、真夏に実施することはコンディショナルにふさわしくない。 であれば、電波伝搬上 真夏の6月から、DXコンテストは日程変更すべきではないでしょうか。 この場合、オセアニアDXコンテストと重ならないよう、JARLと Oceania DX Contest Committee 間で調整していただきたく考えております。		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JH3AIV							○	日程は、8月の第一土曜日から翌日の日曜日で行い日程の変更は行わない。FDコンテストと全市全郡コンテストの入れ替えは反対です。開始時間は、以前の21時からに戻し終了時間は、現在の12時終了に。案では、10月の開催では、確かに日中の気候は良いが、夜間はとて無線で無線が出来る気温ではない。8月でも結構寒い。また全国的にWBGT値31を超えてました。また2日間で18人が死亡したと言われていますが、どのような環境で亡くなられているかコンテスト委員の方は、分析されての文章でしょうか？正確な情報(分析)での意見募集にしてください。良く知らない会員に過大なことを示して、10月にFDコンテストを誘導しようとしていると思えません。関西ハムの祭典(関ハム)に於いて期間中WBGT測定器(WBGTのJIS制定委員メンバー企業)を借りて毎年測定しています。7月ですがWBGTが31を超えることはありませんでした。仮に都市部では、WBGTが31を超えるところがあったとしても移動先では、WBGTが31を超えることはないと考えます。開始時間も21時戻すことにより、日中のANT設置後の休憩が十分に行えること、また昼から休憩をはさんでも、十分開始時間に間に合うと思うが、18時では休憩もできない。クラブ局の場合会員相互の親睦も図れない。FDコンテストに参加しているクラブ局や個人局の意見を個別に聞いてください。参加もしていない方の意見は、重要ではありません。それも必要かもしれませんが、実際に移動局として参加している局の意見が重要です。参加リストが有るので判別できますので集計時は過去に参加、不参加を区別して意見をオープンしてください。		コンテスト委員の方は、FDコンテストや移動運用など行っている方なのでしょう。FDコンテストとコンテスト委員がされている？コンテストとは参加の意義が異なると思います。FDコンテストについては何回も機会あるごとに(HAMフェア)で変更の検討を嘆願してきましたが、一切聞く耳をお持ちではなかった。これでは誰のための組織なのか疑問です。組織があまりにも閉鎖的ではないでしょうか？今回の意見募集について意見募集はするが、その多数意見を聞くとは記載されていません。8月から全市全郡とFDコンテストを入れ替えるとははしないで、会員の意見で決定してください。その時は全ての意見をオープンしてその結果で対応願います。以上
JR3EOI							○	A. FDの開催日は今のままでよい。 夏休みの期間であり、仕事している人も休暇を取りやすい。 B. FDの使用バンドは3.5Mから1200Mにしてください。 C. したがって、マルチブライヤーは都道府県支庁となる。		マルチバンド参加時の設営負担を軽減するため。これで1エリアとそれ以外との格差が少なくなる。言い換えると対等性が出てくるということです。
JH4UYB							○	2015年に十分な検討無く時間が突然変更された苦い経験。日程変更は最終判断であるべきで、安易にいじくるべきではない。AACWとAAPHを入れ替えたのも全くの無意味でナンセンスでした。もう25年も経過して認知されたのでこの件はもうよろしいですが。 全市全郡を8月をもってきても移動運用の局は相当数存在するわけで、問題点の解決にはならない。問題の本質を上手く図りきれてない。両コンテストとも全バンド使用可能で内容がダブルことから、両者を合併併合して10月に実施が現実的な解決策だと考えます。		
JR6QBM							○	現状のままでいいと思います。変更によってVHFのEsは、確実に期待できません。そうするとFDの意味がほとんどなくなります。熱中症対策は、自己管理が大事なことで その対策として 変更するのは意味が分かりません。		
JH6HXQ							○	1. 10月はハイバンド、VHFのEスポーンが終了しており、マルチが稼げず、全く面白みに欠けるコンテストとなる 2. 学生の夏休み期間中に開催すべきである。10月開催は若者をアマチュア無線にいざなう趣旨に反する 3. 10月は山開きが終了している所もある。登れないのではFDの意味が無い 特に1,2においては深刻で、50MHzの参加者が激減する可能性があると思います。リスクヘッジの観点があるのかも知れませんが、参加者がそっぽをむいては開催の意味がありません。熱中症対策を十分に喚起して開催すれば死者が出たところで誰もJARLのせいだとは言わないでしょう。		
JO1EUJ							○	全市全郡コンテストと日程を入れ替えても、移動運用先から参加する方は居る。この場合、準備、コンテスト中、撤収のどの段階でも熱中症の危険は変わらない。また、「常置場所・設置場所以外からの参加を禁止する」とすると、社会人なら単身赴任先の住居、学生なら通学先最寄りのアパートなど(FDコンテストで言う「商用電源設備がある場所への移動」)で常置場所の変更手続きを行っていない方の参加を阻害することになるので「移動運用禁止の反対者は多い」と思慮する。他の日にするとしても、他のコンテスト日程や長年定着していることを踏まえれば日程入れ替えおよび移動運用禁止は反対する。		
JJ3EBU							○	現在開催されている国内コンテストとの入れ替えであれば、結局8月にコンテストを開催することになるので、根本的な解決にはなりません。単純にスケジュールをシャッフルするのは反対です。8月のコンテストは廃止して、6月のALL ASIAN DXコンテスト電信部門の時期にフィールド・デーコンテストを移し、ALL ASIAN DXコンテスト電信部門を10月もしくは11月に開催することを提案します。		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JH3JF							○	全市全郡コンテストも移動運用で参加される方もおられるので同じこと。コンテストは体力と知力の勝負で、高齢者に不利なことは確かだが、全体をその基準に合わせるのは無理がある。シニア部門を充実するのが良いと思う。		
JA5FNX							○	開催時間:21時から15時 アマチュア無線コンテストはラジオ・スポーツなのです。従来のJARLコンテスト日程、時間はよく考えられています。それらコンテストの日程時間等はどのようにこの季節、時間になったかよく考えてみてください。また、日程時間を変えると今までの記録が全部無くなります。もっとも、すでに変っていますが		
JF1TPR							○	現状のままの方がよいと思われる。私は、山岳移動、特に3000m級の山岳地帯での移動運用をクライミングのついでに楽しんできた。日程上、他の予定との関係があり、コンテストで移動することは少ないが、日本勤労者山岳連盟に所属して最大で年間67日の登攀を行ってきた。こうした経験から、以下の点で10月への変更は適切でないと考えられる。 1) 10月10日前後での実施となると、中部山岳地帯の高所や東北地方での移動では、降雪の可能性も考える必要がある。これは、山岳地帯での移動運用をする者にとっては常識的な事である。この時期は移動性高気圧の前面で一時的に冬型になったり、強い寒気団が一時的にせよ入っていきなり吹雪になったりという事が、当たり前のようにある。従って、この時期には高層天気図を確認して寒気団の動向を確認することが山岳で活動する者には欠かせない。 過去には谷川岳など2000m以下の山でも大量に日帰りハイキングしていた方が遭難して亡くなっている。また、最近でもこの連休に東北地方で平地でも降雪を見たことがあった。こうした事があると、車で高原道路などに移動した場合にも、危険や通行止めなどに直面することが考えられる。この時期の天候の変化の速さはGW以上であり、日帰りならばともかく、2日間にわたるフィールドデーには適さない。 2) この時期は、日没が早くなって撤収や設営も早い時刻でないと困難となる。気温も低くなり、健康上のリスクも大きくなる。冷たい雨にうたれたり、雪にみまわれたり、突然気温が高い所から寒くなるので、身体がついていけない事が多いので、特に高齢者が増えている中では、この時期の移動でのコンテストは不適切である。 3) 熱中症の危険性を変更理由としてあげられているが、移動運用局での参加局の多くは車などで移動して屋根のある環境で運用しているのではない。歩いて登山しての移動で行っている場合には、当然、熱中症対策できる人が行動して参加しているので、配慮する必要はない。こうした事から考えて、現状の日程が梅雨明けとの関係で考えてもベターではないかと思われる。		
JF4CZJ							○	現状は夏休みなので野外移動が可能ですが、10月は大学は新学期初めごろが一番良い時期なので、参加が困難になります。山の中で運用するのが醍醐味であって、暑さ指数とは別物かと思えます。場所(例:7/8/0エリア)によっては10月はもう寒い時期です。特に東日本では日照の問題(18時には暗くなる)もあり、野外設営も困難になります。 一方で、18時から12時という現状の時間変更によって、撤収をやりやすくなり、助かっております。あわせて、お伝えいたします。		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JH8XTE							○	<p>昨年、一昨年ともに全市全郡コンテストで神威岳山頂(標高467m)の歌志内市側からモバイル移動運用でシングルバンドに参加しましたが、時々、車のエンジンをかけて暖房を入れ、車内を暖めながら運用していました。モバイル移動運用ならまだしも、10月にテントを張ってキャンブで移動運用する局なんて北海道にはいないと思います。天気が良ければ日中はさほどでもありませんが、雨が降ると気温は一気に下がります。ましてロケの良い標高の高い場所では夜間に雪が積もったり、明け方には氷点下になる場合もあります。平地でも明け方は氷点下近くまで気温が下がるため寒いのです。北海道の10月中旬は温暖ではありませんし、野外活動の適期とも思えません。また現FDコンテストはEsが多発する8月に開催されることもあり、HFローバンドからVUまでマルチバンドで楽しむことができます。おまけにハイパワー局が参加できないため、潰されることなく伸び伸びとコンテストに参加できます。ところが10月開催となると、Esは無し、HFハイバンドは聞こえない、このような状況ではマルチバンドで楽しむことはできません。8エリアは、HFハイバンドでもグランドウェーブで局数を稼げる1・2・3等のエリアとは違い、電離層反射の交信を主体に交信数を増やさなければオールバンド部門に参加しても上位入賞は見込めません。上位入賞が見込めない部門には当然参加しないし、シングルバンドもHFは3.5か7に限られ、VUは1時間CQを出し続けても応答がない場合もあり、あまり面白いとはいえません。</p> <p>熱中症対策としてFDコンテストと全市全郡コンテストを入れ替えたとしても、8月はEsシーズンということもあり、ロケの良い場所や標高の高い場所、珍JCC/JCGIに移動してコンテストに参加する局が激減するとも思えません。私は例年通りモバイル移動で参加し、マルチバンドで楽しむことと思います。コンテストだけを入れ替えても、全く意味がないと思います。上記のことから、私はFDコンテストの8月開催を希望します。また全市全郡コンテストが8月に開催されることになっても、少なからず移動して参加する局がいる訳ですから、移動局に配慮し、熱中症予防のため、開催時間を短縮する(例えば21:00~15:00)こともご検討ください。固定局部門と移動局部門に分離し、固定局は24時間で、移動局は18時間で戦うのも面白いかも知れません。それとFDコンテストが10月開催となるのであれば、21:00~15:00の時間での開催を希望します。</p>		
JH6WHN							○	<p>10月中旬を温暖とする理由がわかりません。たんなる平地での野外活動とした場合が温暖であると考えられますので、標高が高いところではそれなりの準備が必要なのではないでしょうか。別の制限が必要になりませんか。熱中症がJARLとして危険と判断するならば廃止も検討するべきだと考えます。</p>		
JA1CTB							○	<p>時刻だけ以前の21時~15時までに戻るのがよい。 この理由としては 1. 10月中旬は、山間部での野外活動には寒すぎます。 2. 多くのFD参加局にとって楽しみである6mでのEs伝搬が期待できず、面白みに欠けます。このため参加を見合わせる局が増える原因になります。 3. そもそも熱中症の危険性は、時刻を早めたため増加してしまっただと考えます。アンテナ設営を日中の最も暑い時間に集中的に行うしかなくなりました。21時開催であれば、夕方からアンテナあげても間に合い、土曜日に午前~14時ころまで仕事した後も参加可能でした。また、移動先で夕刻からゆっくり乾杯しながらBBQを楽しんでコンテストに突入する、というFDらしいことが15時開催になると出来なくなり、楽しさがおおいにそなわれました。 終わりの12時では6mのEsも開く時間が短くなりました。撤収作業も一番暑い時間帯になります。 この時間変更こそ、見直されるべきマズイ変更だったという意見が、多数聞かれます。ぜひ戻していただきたく思います。</p>		
JR4FLW							○	<p>FDはこの時期にやるのが意味があるので、入れ替え反対。時期をずらすとしても、少なくとも夏休み期間内で、他のローカルコンテストとの入れ替えで実施していただきたい。(相談すれば入れ替えはできると思っています) (学校のクラブ参加もまだあると思うので夏休み期間が良い)暑くてきついなら移動しなければよい。現在は固定も参加OKであり、部門TOPが固定局というときもあった。 FDの開催時間も21時に戻していただきたい。 18時だと何かと忙しくBBQをやる時間がない。 以前の21時15時(もしくは12時終了の短縮バージョン)で十分。10月は台風が来る可能性が高く、特に体育の日が10月10日から移動した後は軒並み台風と重なることが多いのでなおさら避けて欲しい。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JI3MIK							○	<p>(1) 世間一般でも、10月は温暖で野外活動の適期であるため、さらに紅葉シーズンでもあるので野外活動を行う一般の方が激増する。</p> <p>(2) 10月に野外活動を行う一般の方の目的は、紅葉など景色を楽しむケースであることが、7月と比較して多い。</p> <p>(3) 上記(1)および(2)の理由から、フィールドデーコンテストを10月に開催すると、野外への移動を主旨とするコンテスト参加者と一般の方とのトラブルが増加することが確実です。</p> <p>(4) 2018年9月の関西空港など西日本から北日本にかけて暴風高潮停電をもたらした台風21号、2018年9月に西日本・東日本の太平洋側を中心に暴風高潮をもたらした台風24号、2019年9月に千葉県を中心に暴風停電をもたらした台風15号など、9月は大型台風の来襲時期です。10月はまだその爪痕が残ります。特に復旧が進みづらい高所で、機材を携行して設置するフィールドデーコンテスト参加者には不測の事態の発生が懸念されます。10月に、従来以上の野外コンテスト参加者が増える方策は避けるべきです。</p> <p>(5) 上記(1)～(4)まで述べたとおり、我々は良き社会人であるべきであり、一般の方とのトラブルを避けてかつ我々自身の怪我などのリスクを増やさないため、10月にフィールドデーコンテストを開催することは避けるべきです。</p> <p>(6) 代案としては、同じ8月のままとし、開始時刻を21:00、終了時刻を15:00にすべきと思います。</p> <p>(7) 理由は、現状は設営の時間帯・撤収の時間帯とも熱中症リスクがある時間帯ですが、設営時間帯が遅くなれば熱中症リスクは軽減され、また、撤収時間帯も遅くなれば熱中症リスクは軽減されるためです。学生社団局の参加としても夏休み中の開催が望まれます。</p> <p>(8) また、初日の昼間に仕事や所用があって現行の18時開始には間に合わせづらい方もおられます。私もその一人です。よって開始時刻を21として、初日の昼間の時間帯を潰さなくても参加できるよう改善を希望します。</p> <p>熱中症リスクを避けるだけでなく、開始時刻と終了時刻を変更して、より参加しやすくなることで、FDコンテストが活性化することを願っています。</p>		
JM1EKM							○	<p>フィールドデーコンテストは固定からの参加が出来ないわけでもなく、身の危険を感じれば自主的に移動しなければ良いことであり、入れ替える理由にはならないと考える。また、10月のこの時期も台風シーズンにもなり理想とは言えない。</p>		
JR5HWQ							○	<p>思いつきのような意見で、軽々に変更しないでもらいたい。可能ならば、開催時刻を以前の21時～に戻してもらいたい。これも、何人の会員や理事が、変更提案し、どういう手続きで、入れ替えを計る事になったかの、経緯を一切示さず、いきなり愚にもつかない理由で、入れ替えに賛成か否かを問うのは、納得できない。コンテスト委員の内、全員が、また、会員のうち何人が、JARLコンテストに参加してみても、本当に暑いから、とか、FDとACAGを入れ替えた方が参加者が増えると実感したのですか？・コンテスト参加者が減少傾向にあるのは、時期の問題ではなく、コンテスト自体がおもしろくない、からだと思いませんか？コンテスト自体がおもしろくないというのは、常連の上位局と走で内局との設備、オペレーションの差が固定化してなかなか、入賞できない、のも一因ではないでしょうか？パワー制限以外に、SO2Rの禁止部門、スキマー利用禁止のノンアシテッド部門など、新たな区分の設置を考えてみる、連続入賞者の制限、e-MAILのみの受付の廃止、など、非コンテスターの要望事項を集めてみて、それでもだめなら、日程に手をつけるくらいに、手広く構えて、コンテストの活性化に取り組んでもらいたいです。</p> <p>・FDコンテスト開催時刻を18時～翌12時に変更したことで、設営、撤収ともに、最悪炎天下での作業を余儀なくされる、前日の仕事が終わってからの参加は、事実上 移動運用はの参加が困難である、ため、参加者が減少したと、考えられませんか？ (当局は、この二つの理由で、FDコンテストには、参加できていません)</p> <p>・ACAGコンテストを、まして、24時間のコンテストを、炎天下の真夏に開催しても、同様の理由で、逆に参加者は敬遠すると、容易に推測できると思います。</p>		
JG2QUM							○	<p>移動運用はやはり夏が似合います。熱中症の問題も真夏なら結局同じです。あまり時間に関係ないと思います。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JA3IEZ								<p>○ 全市全郡の10月初旬以降は、関東地方以北は移動運用には適さない季節である。到底夜間の運用は寒さに耐えられません。また、北海道では、冬眠前のヒグマに遭遇する危険があります。コンディションも、Eスポ発生がなく、全国とのQSOができません。</p> <p>多分入れ替えを提案された方はコンテストの経験がないのでしょう。FDコンテストの日程は、現状のまま。ただし、21時から翌日15時の元に戻すこと。</p> <p>開始時刻を18時に早めたのは改悪でした。21時に戻すことにより、余裕のある設営準備ができ、休憩を取りながら熱中症対策が可能です。ホームステーション同士のQSOは無効としてください。FDコンテストの意義を無視した規約です。</p>		
JK7UST								<p>○ FDはEs頼みの側面があり、10月開催ではEsはオープンしないので、つまらないコンテストになる可能性があります。入れ替えせずに、開催時間を以前に戻して21時から15時すればいいとおもいます。そうすれば、涼しくなってきた18時から準備できるでしょう。</p>		
JA93182								<p>○ 10月中旬の8エリアは冬です。公平性に欠けます。また山岳移動では気温が低く日も短いため遭難のリスクが高まります。</p>		
JH8KYU								<p>○ 全市全郡は10月でなくても良いと思いますが、FDは夏が良いと考えますので、お盆を過ぎた8月最終週末ぐらいではどうでしょうか？</p> <p>ハムフェアが被るのであれば、ハムフェアと入れ替えれば良い。屋内なので。</p> <p>野外運用を「奨励」する時期として、大多数を見れば8月より10月が快適という考え方は、合理性はあると考えます。しかし、10月中旬が快適であるのは、主に首都圏以西の低地の場合と考えます。今年は10月に入っても真夏日が続くなど、季節感が麻痺しているかもしれませんが、例年だと、全市全郡の時期は、関東周辺でも2000m級の山では初雪を観測するような季節です。私自身も全市全郡コンテストでの移動運用中に猛吹雪に遭い、雪の重みで仮設アンテナを倒壊させた経験を持ちます。雪は降らずとも、朝晩の冷え込みが相当に及ぶことは全く珍しくなく、野外で単に無線に没頭するだけならば我慢すれば良いのですが、FDといえば、仲間とのキャンプなどを楽しんできた方も多いと思われ、その点の楽しみが阻害されるように思います。日帰りのイベントではないので。</p> <p>開催時間: 21時から15時 18時から12時に変更した結果は好評だったのでしょうか？</p> <p>私は強いこだわりではありませんが、21時から15時のままが良いかと思っています。これは単純に多数決が良いと思います。</p>		
JG5DHX								<p>○ 一移動運用メインの局から言わせてもらえば、生命を危険に晒すようなスタイルで運用している訳ではないので、運用中はそれなりに暑さ対策を施している。ただ、アンテナ設営撤収などの屋外作業が問題になってくるので、そういった意味でも、FDの、開催日ではなく所間を、以前(21:00-翌15:00)に戻して頂きたい。夏場は日没が遅いので、涼しくなる夕方から設営できるし、仕事を終えてからでも間に合う。クラブ局もゆとりを持って親睦等がはかれる。撤収も涼しい時間帯に行える。また10月は、まだまだ台風が来襲する時期なので、野外運用がメインのFDなのに、移動運用局が少ないなどの事態も起こりうるであろう。要するに、開催時間を以前に戻せばよいだけで、他のコンテストと入れ替えるような手間は必要ない。</p>		
JR9TUG								<p>○ 7, 8エリアでのFD参加が難しくなるのではないかと？</p> <p>特に8エリアでは気温が下がり危険ではないか(暑さばかりに注意が向き過ぎ)</p> <p>なぜ日程入れ替え反対の場合の開催時間変更の意見欄がないのか不思議であるといった何人の意見で、現在の時間に変わったかさえもわからず元に戻す意見が出ているはずなのに、戻さないの理由がなにか21時スタートであれば、当日仕事などがあってもフル参加できるであろうと思われるが21-15であれば撤収時の暑さも和らいでいると思うが...</p>		
JA1XCZ/4								<p>○ 入れ替えを考え付くのはコンディションをあまりにも理解してない局だ、FDの暑さ対策はモーニング部門を新たに設置してある程度解決？したのでは、ただ開催時間を21時スタート15時終了に戻し、モーニング部門ではなくて任意の連続した6時間に変更すれば暑さ対策の解消。</p>		
JR8PPG								<p>○ 全市全郡コンテストも移動局が多く、結局何の解決にもなっていない。上記2の理由と同じ。むしろ、6m&DOWNコンテストとFDコンテストは合体して8月のコンテスト開催はやめた方が良いのでは無いか。</p> <p>6m&DOWNコンテストも移動局が多いため参加層が重複していると思われるし、部門分けを工夫すると多数の参加者が楽しめるようにできるのではないかと。面倒なのでシングルバンド部門は廃止して、オールバンド、ハイバンド(V/U)、ローバンド(HF)、3バンド(任意)、50M部門程度が良いと思う。コンディションを考えたら6m&DOWNコンテストは1週早めても良いくらいと考える。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JN1NCB							○	<p>学校、職場、団体の夏休みの期間に当たり、これに合わせて準備したり、イベント化している部分が多いと思うので、8月中旬がよいから。ただ、8月初旬では無く、中旬、下旬も検討してもよいかもしれない。また、この時期は、Eスポが発生する時期(それでもEsの終盤)であり、FDテスト(主にVHF帯などで移動が多いので)のだいご味でもあるため。ACAGテストをこの時期にやっても、やはり移動してしまうように思う。</p> <p>*FDテストの時間</p> <p>上記の意見募集で反対を出しましたが、時間についても意見したい。20時から15時がいいと思う。始まりは21時である必要はなく、かと言って、18時だと夕食などを取る時間がないから。終わりは、12時だとEsがまだ出ている場合もあり、また、撤収作業が暑い時間帯になって辛い。15時ならば、大体のことが終わり、撤収も含めて夕方には帰ることが可能だから。</p>		
JQ1VDJ							○	<p>夏に行うからFDコンテストではないでしょうか。</p> <p>10月に行った場合、台風に合う確率が上がります。</p> <p>また、標高の高い山においては、冷え込みが厳しくなることが想定されます。熱中症について言うのであれば予防対策は幾らでもあるのではないのでしょうか。開催時間は、以前の21時スタートが良いと思います。</p>		
JR4VEV							○	<p>(1)10月中旬は温暖とは言えず、屋外での宿泊には相応の準備が必要です。特に7エリアや8エリアにおいては、十分な防寒対策が必須でしょう。また、この時期の「クマ」は冬眠の前で餌を求めてアクティブに活動しています。フィールドデーコンテストの目的は、「野外へ移動して運用するアマチュア局との交信をはかるため」と定められており、局種係数のルールは屋外に移動して運用する局が有利となるよう設定されています。屋外での移動運用が主体となっているフィールドデーコンテストを、屋外での移動運用が行いにくい時期に日程変更することは反対です。</p> <p>(2)8月上旬は学校は夏季休暇期間中であり、現状のフィールドデーコンテストは、学校社団局が夏休みを利用して合宿形式で参加するのに都合の良い日程となっています。また社会人の社団局においても、夏季休暇が取得しやすい日程です。10月中旬に日程変更すると、合宿形式で参加していた学校社団局が軒並み参加できなくなり、若いハムの育成にも支障が出ると思います。</p>		
JA7KPI							○	<p>10月中旬は寒冷で、野外活動には適さない。特に夜間は気温低下が激しく、山岳においては降雪の可能性すらある。</p> <p>また、先般の台風19号など 台風が接近 上陸する可能性も他の季節より高い。過去においても全市全郡コンテストを台風が襲った事例が複数回存在する。</p> <p>2015年、意見募集の実施もなく勝手にFDコンテスト開始時刻を3時間早めたことがまず大きな間違いである。 18時開始であれば設営は当然それ以前、また撤収は12時コンテスト終了後となるが、どうしても陽が最も高い時間帯になってしまう。</p> <p>これが21時開始であれば 日没は18時50分頃であり 夕方以降の比較的涼しい時間帯を設営に活用可能だし、コンテスト終了の15時以降の撤収は12時終了の撤収よりも負担が少ない。 以上のことからコンテストの開始終了時刻を以前のとおり 21時開始 翌日15時終了に戻すべきである。 百歩譲って 日程変更を考えるならば、FDコンテストをWBGTが上昇する前の7月20日頃に設定した方が電波伝搬的にも良いのではないかと。6m&Downコンテストとの間隔を問題とするならば6m&Downをも6月20日頃に移動するのも手である。他の国内もしくは海外コンテストと重なってしまうため控えたいというのは調整交渉等の作業を忌避するJARLの怠慢といえよう。</p>		
JR4ERC							○	<p>①天候だけを考えると10月の方が関東以南は安定しているのでフィールドデーにいいかもしれない。ただ、8、7エリアは移動には寒すぎる。つまり、8、7エリアを無視している。</p> <p>②10月にフィールドデーだと高校、中学のクラブ局の参加は絶望的である。</p> <p>③全市全郡でも野外の移動局はいるので、単に全市全郡とフィールドデーを入れ替えるだけでは意味をなさないし、コンテスト委員会の提案は非論理的。以上から、日程の変更は反対である。</p> <p>また、酷暑期(8月)の移動運用の熱中症を心配するのであれば、全市全郡を8月に振り替えて参加条件を一例として「インドアの室温28度以下での運用に限る。」等とするぐらい大胆な規則変更を行う必要がある。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JA3MMR							○	<p>現ACAGのころは夜間は寒くなる。暗くなるのが早い。 特にフィールドデーは移動する局が多いので、また山などの高地に移動する場合10月では日照、気温及び台風などの悪天候になる可能性がある。暑い夏に実施のほうがよい。開始時間を遅くする ACAGは多くの局は常置場所(ホーム)から運用で問題ない。 ・開催時間帯を元に戻す。(21時～15時) 理由: 現行日に時間を戻した場合では設営後に一旦休憩時間を取る事が可能 ・ホームステーション同士の得点を無効とする。移動局のみ得点とする。 理由: このコンテストの開催意義は「移動運用」をする事にあり ACAGとは別物のはずです。</p>		
JA4EHG							○	<p>クラブ局(JA4YFQ)の移動運用について、機材等の事前準備や一部運用者が高校生や社会人現役等々現在のクラブ形態に合わせて実施しているからです。アウトドアの行事ですから事前に暑さ対策を含めた準備もしていますので問題はないかと。それと、運用時間も18時からと変更されたので夕方のEスポの残り香(特に6mなど)楽しめるようになり6mで4エリアからも全エリア交信が出来た年もあります。10月では異常伝搬は殆ど望めず、エリアによってはハイバンドの楽しみが減少するのではと思います。更に昨今の異常気象(台風)の被害を考えれば、移動運用はまだ8月初めの方が適しているかと。</p>		
JH0TIS							○	<p>夏休み中のフィールドディコンテストへの参加は、多くの学校クラブの年間行事の中で、最大の行事です。それを奪わないでください。 暑さへの対策は、各個人、各団体で、しっかり対応すべき。夏休みの間だからこそ、事前に、じっくり準備できて、遠隔地へ移動することが出来て、卒業生が集まり、オペレートと屋外での楽しみもできて、ゆっくり片付けまで出来るのは、夏休みならでのこと。一大イベントです。他の競技の、野球サッカーその他、県大会、ブロック大会、全国大会を、「暑いから、秋にします」なんて、どこの競技団体も言っていない。高齢者が多いからといって、数の力で変更しないでください。学校クラブの声を聞いてください。 アマチュア無線愛好者がどんどん減っています。その中で、学校クラブが果たす役割は大きいです。学校クラブが衰退したら、その傾向に拍車がかかります。学校クラブが、将来のアマチュア無線の砦です。どうか数の論理ではなく、学校クラブの声を聞いてください。しかし、東京オリンピックの期間中にコンテストを開催することは、フィールドディでも全市全郡でも、大反対です。2019年5月に10連休があったように、2020年は祝日が移る特別な例年の年です。ですから、コンテスト改革は、今、最終決定するのではなく、2020年は例年の年として、じっくり考えてから改革を実施することを、希望します。詳細は、最後に。</p>		
JA1TAZ							○	<p>10月では屋外(特に山岳移動)では夜間は寒くなりフル参加は難しい。 (コンテスト委員会の委員も体験してみたい)</p> <p>また最近の地球温暖化の影響で台風が巨大化する傾向があり野外の運用は危険が伴う。8月開催で、以前のように21時から翌日の15時までの開催が適当と思います。</p>		
JE3QOL							○	<p>全市全郡コンテストは移動しないと考えておられるようですが、多くの局が移動運用しています。8月になると、同じ問題が起きる。</p>		
JL3JRY							○	<p>6m AND Downとの入れ替えを提案します。6m AND Downは、移動して楽しみが増えるコンテストだと思いますが、VUHFのためアンテナはコンパクトであり他のコンテストとの入れ替えるを検討する中での優位点の1つだと考えるため。</p>		
JG2BVO							○	<p>私の場合どちらのコンテストも移動運用するので関係ない。あるいはFDを9月の3連休にするのはどうか? どうせ学生は少ないのだからあえて夏休みに固執する必要はないだろう。</p>		
JH8FIH							○	<p>本年の例を考えると、10月の土日には台風が来襲し、コンテストどころではなく、ACAGにおいても、ハム仲間が多数被災している状況の中、参加してよいか悩み、土曜日に始まってまいりち気乗りがしなかった。来年以降も10月に大型の台風の来日があると思われることから、FDの開催には向かないと思う。熱中症被害よりも甚大なものとなる可能性が大きい。 参加の各局に、熱中症への十分な対策を取って参加することをアナウンスすることで良いのではないだろうか。また、8月にはジュニアハム達の夏休みも重なり、保護者も会社の夏休みを取りやすいので、キャンプを兼ねたFDの移動運用という形での参加もしやすい。10月では休みの取得は難しい。北海道の気候から言うと、10月では相当寒くなっており、屋外での運用は厳しい。更に、10月では中高生は中間試験や学校祭と重なり、学校のクラブ局の参加にも消極的になるのではないかと。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
7N1PFW							○	<p>全市全郡コンテストとの単純な日程入れ替えでは熱中症を考慮した改善にはつながらないと考えられます。現行の全市全郡は24時間であり、逆に熱中症のリスクが増大しかねません。熱中症対策とするのであれば、8月上旬のコンテスト開催は避けるべきであり、FDの廃止も含め総合的に見直す必要があります。(例えば、FDは9月に移行してXPO又は愛・地球博記念と統合 或いは6月に移行してKANHAMと統合する等)</p>		
JF3EBO							○	<p>・入れ替えた場合のメリット 1. 全市全郡コンテストが国内コンディション(ハイバンド)の良い時期に開催される 2. 設営・撤収時の暑さが緩和される ・入れ替えた場合のデメリット 1. FDコンテストが国内コンディション(ハイバンド)の悪い時期に開催される。コンディションが悪いとコンテストの面白みが半減してしまい、FDのような移動するコンテストだと、移動するモチベーションも落ちると考えられる。 2. 10月2週にもなれば、寒冷地・寒地である北海道、東北地方、長野県などの一部では移動できないことも発生すると思われる。「10月中旬は温暖で、野外活動の適期である」との記述は、日本全国に対して当てはまるものではないと考えられる。温暖地・暖地でも昼間は暖かくてもFDコンテストで移動するような標高の高い場所は夜間かなり冷え込むこともあると思われ、夜通し開催されるFDコンテストに適した時期とは思えない。 3. 学校社団局が参加できなくなるとされる。学校社団局が移動してコンテストに参加するには、夏休みのような長期休み期間中が適していると考えられる。 4. 過去の記録との整合性の問題。FDと全市全郡を入れ替えてしまうと、それぞれのコンテストが過去に開催されていた時期と異なってしまうので、過去何十年の記録との整合性が取れなくなってしまう。 5. 2015年に今回問題となっている暑さ対策でモーニング種目を設けたはずで、それから5年も経たずに、また同じような繰り返しをしているように感じられる。これでは、モーニング種目を設けた意味がなくなるように思われる。前回2012-2013年の意見募集の結果が、しっかり引き継がれているのか疑問に思った。 以上、入れ替えた場合のメリットよりデメリットが多いので反対とした。もし、どうしてもFDの開催時期をずらすなら、梅雨の問題はあるものの7月の6Dや6月のAA DX CWとの入れ替えを検討したほうが、コンディション面(コンテストとしての面白さ)から考えると現実的と思われる。特にAA DX CWは国内Esシーズンに開催されており、本来は国内コンテストに適した時期と思われる。逆に10月のACAGはDXコンテストに適した時期と思われる(ACAGの日程でOC DXのCW部門が開催されている)。FDコンテストの開始時間について、2015年に18時開始となって、まだ間もないことから21時開始に戻すには時期尚早と思う。一度何かを変更したなら、少なくとも10年程度は、そのまま運営を続けてほしい。コンテストの開催日時や規約はそんなに頻繁に変えるものではないと思う。</p>		
JK1VZK							○	<p>FDコンテストは夏休みの行事で良いと思います。10月中旬では山に行くのが寒いです。 ・開催時間は以前の21時スタートとしてください。 [理由] 落雷タイムにスタートするなんてありません。夕食を片づける時間がありません。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JR3QHQ							<p>これは、ダメです。 全市全郡の時期、東北・北海道は、大変寒くなり移動運用に適していません。また、熊が冬眠のため凶暴になり大変危険です。なぜ、FDコンテストが、8月初旬になった考えれば、明白です。 ほんとうにコンテスト委員会で議論されたのでしょうか？疑問に感じます。 前回理事会にQSOパーティーの議案を出されたとき、委員の人は、それをご存じありませんでした。私は、それを聞いてびっくりしました。疑義を感じます。 日程案の1と2に誘導を感じます。 私は、FDコンテストは、6m AND Downとの変更を進言します。理由は、8月初旬暑くてもマルチでも設営バンドが少ない。まだ、ESポやダクト交信ができる。 ○ FDコンテストについては、まだ気温はピークでない。「梅雨期であり、積極的に移動を進められない」と言っているが、それなら、6m AND Downはどうするのか中止するのか？ これは、全く理由にならない。FDコンテストについては、開始時間を21時に戻し。学校クラブや地域・職域クラブなどで親睦が、出来るようにすること。 また、FDコンテストの趣旨に反した固定局同士の交信を可としたルールももとに戻すことを。コンテストでのカード交換について、不要なカード交換を無くするように告知すること。前委員長は、このカードについて委員会の仕事ではないと言いつつが コンテストでのカード交換です。委員会の仕事です。 コンテスト委員長は、辞任すること。以上。</p>			
JL3DYW							<p>○ フィールドディコンテストの日程変更について 全市全郡コンテストとの入れ替に反対する。東日本～南日本は気候的によいが、北日本(特に北海道)は気温が下がる、日照時間が短いために移動運用に適さない。熱中症予防の観点からであれば、変更案よりも開催時間を以前の通り21時00分～15時00分に戻す方がよい。理由としては、開催21時だと設営時間が夕方になり幾分涼しくなる、土曜勤務の者もコンテストに余裕で参加出来る。また終了15時だと撤収が高温になる時間帯から逃げられる、日照時間も長いので撤収の時間をずらす余裕がある。また、移動しない局同士のQSOは無効にして貰いたい。フィールドディコンテストの本来の意義が無くなってしまふ。</p>			
7K1BIB							<p>○ 日程案 FDと全市全郡コンテストの入れ替えには反対する。FDを5月または9月に移動させることをご検討いただきたい。開催時間は、21時から15時に戻していただきたい。 理由 どのコンテストにも多くの移動局が参加するのだから、8月の第1土日に全国規模のコンテストを行うこと自体がもはや不適切である。 野外活動を奨励するためFDは、5月か9月に移動させるべきである。重なってしまう地方コンテストには前後の週への移動をお願いするか、北日本で開催される地方コンテストであれば、8月の第1土日に移動してもらえばよい。趣旨を説明すれば必ず理解してもらえるはずである。 時間帯は、FDらしく、みんなで夕食を食べてから運用に取りかかることができるように、21時から戻していただきたい。終了時刻も15時に戻るので、撤収作業を夕方にできることになる点も好都合である。 なお、アマチュア無線の活性化策として、ARRLのFDのように、コンテストではなくアマチュア無線の宣伝と非常通信の訓練を目的としたイベントに改革(あるいはそのようなイベントを新設)することも考えられる。ご検討いただきたい。</p>			
JH1XUP							<p>○ 確かに夏は暑いので時間を短縮したらいいがでしよう。21時～06時まで これなら設営、撤収も気温が上がる前に出来ます。6mでのイスボも8月は出る頻度が低いので問題はないと考えます。ACAG等との入れ替えは反対です。</p>			

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JE7DMH								<p>フィールドデーコンテストの日程変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程変更には反対する。又 開催時間21時から15時に戻してほしい。設営も暑く無い時間に！ ・もともとFDは、地域・職域クラブなどで親睦を兼ねた行事として定着しているのが、がっつりコンテストをするって感じでは無い。 ・そもそも天気が良くて熱中症の危険を感じたら無理に最後迄参加するのでは無く、途中棄権(運用中止)するべきだと思う ・モーニング部門が出来たが、これをコンテスト時間任意の半分のハーフタイム部門とすれば暑さ対策が出来るのではないかな？ ・フィールドデーコンテストコンテスト参加の目的で常置場所を離れ移動運用する局かつシングルオペに限り、運用開始時のマルチプライヤー内の運用場所変更を認めるってのにも反対。どう考えてもおかしい。 <p>○ (マルチオペの、運用場所は一箇所とし、運用範囲は直径500mの円内とする。にらんで、緊急避難等であれば設置した場所から半径500mの範囲としますが。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の良い時期にやるALL JAと全市全郡は格別であり、これを犠牲にしてまで日程変更する意味が解らない。 ・当地東北では全市全郡に移動した場合夜から朝は大変冷え込むので暖房(火)は必須になります。 (という理由で最近移動でのACAG参加は行っておりませんし、FDがこの時期になったら参加は考えます) ・今回の全市全郡は台風の最中の開催となった。JARLのHPには、「気象情報に注意し、十分な対策を行って無理の無い運用を」とあった。中止にならなかったのが不思議な感じだったが、だったらフィールドデーだって同じ事言えるんじゃないですか？。日程変更では無くて。 		
JG1RNL								<p>全市郡 全市郡 コンテスト コンテスト コンテスト は 21 時終了 のため、移動運用者 移動運用者 移動運用者 は最後 まで参加 すると夜間帯夜間帯に撤収 作業 となる。しかし、翌日 が祝日 に設定 されているため、翌朝 の安全 な時間帯 時間帯 に撤収作業 撤収作業 撤収作業 を実施 できる状態 である。もしも、フィールドデーフィールドデーフィールドデーフィールドデー コンテスト コンテスト と入れ替 入れ替 えると、それができなくなり、全市郡 全市郡 コンテスト コンテスト コンテスト を最後 まで参加 できない 状況 が発生 されることが予想 される。なお、FD コンテスト コンテスト の改善 のために、全市郡コンテスト 全市郡コンテスト 全市郡コンテスト 全市郡コンテスト の開催時間 開催時間 開催時間 が短くなることは、さらに問題 を大きくさせることになり、全く解決 になっていないので断固 反対 である。</p> <p>○ どのコンテスト コンテスト コンテスト コンテスト も作戦 や親睦 などを目的に移動運用 移動運用 移動運用 を行って 行っている個人局、個人局、社団局 社団局 が少な からずある事は過去 の参加者 参加者 局リスト 局リスト 局リスト を見ても明らかである。熱中症 対策 は確かに無視 できない 問題 ではあるが、基本的 には各自 が責任 をもって 行い、無理 のない 範囲 で事故 を発生 させることなく参加 することがコンテスト コンテスト コンテスト 参加者 としての責任 ではない かと 思う。</p>		
7L1WRK								<p>コンテストの日程変更には賛成です。ただし全市全郡コンテストとの入れ替えには反対します。</p> <p>○ 全市全郡であれば移動する局が少ないから熱中症などの危険も少ないという理論は成り立たないと考えます。むしろ市郡単位でマルチになる全市全郡コンテストの方が移動して希少なマルチをサービスするという動機で移動する局も多いのではないのでしょうか。</p> <p>○ 比較的気候も安定している5月後半から6月前半への移動を希望します。10月に開催というのであれば開催時間帯は以前のフィールドデーの同様とし、マルチは全市全郡と同様に市郡とするコンテストを10月に開催し、8月はコンテストの開催自体をやめるか、昼前後を避けたスプリント形式のコンテストの開催を提案します。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JF1IIP							<p>日程案として、 FDコンテスト:8月の第4土曜日21:00~翌12:00まで 全市全郡コンテスト:従前通りを提案します。これは、FDコンテストと HAMフェアの日程を入れ替える形の提案です。全市全郡コンテストと の入れ替え提案がありますが、移動運用がメインの参加局にとっては 同等規模の設営撤収が必要であり、危険度はまったく変わらないどころか、 暑い中でリスクを冒して運用しても移動係数は1になり、旨みはまったく ありません。これは、常置場所にアンテナを常設できない参加局(社団局に 多いと思います)も、移動係数以外は同じ現実を抱えます。</p> <p>またFDコンテストを10月の日程にすると、特に山岳移動局にとっては 風害の危険がありますし、富士山等の高峰では冬季閉山により入山できず 参加の機会を失います。これは、FDコンテストの趣旨に反するものと考え ます。またJARLでは、若年層の会員を増やす努力をしている最中であり、 降雪のない地域の公立学校は夏休みが8/31までの学校が圧倒的多数、 これを無視するわけにはいきません。そして8月は、現役社会人が休暇を 取りやすい時期でもあります。</p> <p>降雪のある地域の公立小中高校では、夏休みが8/20までの学校が多数 ではありますが、昨今の熱中症リスクや旧盆などの事情を考えると、 7・8エリアの方には申し訳ないのですが、ここは立秋以降が妥当と考え ます。</p> <p>そしてご指摘の通り、6m AND Downコンテストとの入れ替えは梅雨時 にかかり不適、ALL JAコンテストやAA DX(CW / Phone)コンテストとの 入れ替えはコンディショナルに不適と考えます。</p> <p>以上を踏まえ、FDコンテスト開催時期については8月下旬が妥当と思 います。</p> <p>しかしながら、ピークを過ぎた8月下旬であっても熱中症のリスクが伴 い、また夏の天気は空電・落雷、夕立、帰りの交通渋滞のリスクも想定 されます。そして、一緒に運用する仲間との親睦を深めるアイテムとし てアルコールが挙げられますが、飲酒運転は絶対に避けなければなり ません。昨今の開催時間帯変更の際には、運用後に打ち上げというタ イムラインを検討されたと思いますが、ここで飲んでしまっただけでは 帰ることが出来ません。親睦会は運用前の夜が適当であり、開始時刻 を遅らせることで、その時間を捻出することが出来ます。よって、FD コンテストの開催時間は「21:00~翌12:00」と3時間短くするのが妥当 と思います。</p> <p>その他の規約については、まったく問題ありません。先の規約変更で 可能になった、固定局同士の交信での点数計上や、モーニング部門設 立については、評価に値します。</p>			
JH3CCT							<p>ACAGの開催時期との入れ替えは、日本国内は広く地域差による夜 間を含めた気候変動も大きいものと考えられ、移動局運用時季として 適さず新たな苦情の声は必至。</p> <p><改善意見> 開催時期は現行のままで良いが、開催時間を従前の21時~翌日15時 に戻せば開設準備や撤収等、暑い時刻を避けた対策になる。万一、開 催時期の入れ替えという視点であれば6m & ダウンコンテストが対象。 HF帯が無ければ暑い時期でのアンテナ設備も不用となるので設営撤 収に貢献(装備の簡素化)。</p> <p>その他、FDコンテストの趣旨からすれば固定(常置)局同士の交信が 有効となる現行ルールは不自然。従前規約に戻すべきと考えます。</p>			
JO1LDY							<p>アマチュア無線はもともとラジオスポーツである。天候により安全を守 るのは参加者のモラル及び責任である。現状は自宅からも参加でき るルールもあるため、危険であれば移動しなくてもよいはず。また、10 月にFDを移動するということは、現状ならば台風、遭難、まして東北、 北海道であれば気温が低いことが推測され、危険です。また熊などが 冬眠前の活動があります。このようなことをコンテスト委員会は理解し ての提案でなのででしょうか。単純に入れ替えを模索していると思 えません。もともとFDは地域のクラブの活動においては、学生も参加し やすい環境であり、地元の社団局が親睦的な要素を含んでいるもので す。なぜ、大人の視点でしか物事の考えられないのでしょうか。JARL として若者を増やそうといっている観点から見たら本来転倒です。コン テスト委員会は若者の参加を望んでいないのでしょうか? また、FDの スタートは従来通り 21時から15時に再度戻すことを求めます。炎天下 の撤収の危険性は、コンテスト委員会が2015年に改訂したことにより 生じているものです。原因は何であったのか、なぜ変えたのかをもう一 度、原点に戻って考えていただきたいです。年配の方だけが移動す るものでもなく、FDは青少年の育成という観点も社団局にはありまし た。そのような点も十分にご考慮頂きますようお願いいたします。実際に私 も35年ぐらい前には地元のクラブの皆様の指導を受けていたことがあり ます。</p>			

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JA3KDJ							○	今のままで良いのではないのでしょうか。 私はこのコンテストは学校単位での移動が多いように思いますし親睦をかねて野外での無線局の運用を勉強するという面と持ち合わせていますと思慮します。現行の運用時間を48時間に延長し、開始の時刻は21時から48時間運用者の健康状態を考慮して48時間のうち20時間は休止タイムがある事。その内8時間は連続休止して睡眠をとる事。 * それよりも基本的にはルールですが固定局間での交信も有効とありますがもつてのほかです。移動して運用する局があくまでもメインです。固定局はあくまでもサービス運用にとどめるべきです。乗数も移動局5点 固定局1点と大幅に差をつけるべきです。		
JR3CNG							○	この時期の北日本の気候は移動運用に適さない。 (気温の低下・日照時間が短い。) ・あえて時期を変更するのであれば6m & Downと入れ替える。 ・それよりも開催時間帯を元に戻す。(21時～15時) 理由: 個人局や弱小クラブでは準備する時間等が必要。 現状ではクラブ員の親睦を図る時間が無い。 土曜勤務の者もコンテストに余裕で参加出来る。また終了15時だと撤収が高温になる時間帯から逃げられる・ホームステーション同士の得点を無効とする。 理由: このコンテストの開催意義は「移動運用」をする事にある。		
JE1BMJ							○	理由: FDは夏休みの時期でないともまとまった時間が取れないし、入れ替えた場合、FD、ACAGともに、さらに参加者が減少するおそれがある。 夏季の開催が適切ではないのであれば、春または秋の開催としても良いのではないかと。後述のようにFDを春のALL JAまたは秋のACAGと併		
JO7GVC							○	そもそも「暑いから危険」が理由なのでその前提に立つとコンテストをやること自体が問題だと思います。なので日程を入れ替えても問題の解決にはならないから反対です。 クラブの親睦云々と言いますが、8月にしか時間が取れなければフィールドデーコンテストだろうが、全市全郡だろうが関係無い訳ですし。(全市全郡は移動運用禁止ではないですし、普段運用のない街から出ようという局も居るとおもいます) とは言うものの私には妙案は有りません。 親睦がメインな方も居ればガチで上位入賞を狙う方も居ますから、一律に述べることはできませんが、自己管理で参加するしかないのではと思います。 猛暑の中設営が危ないというのなら、そんな大掛かりな設備を立てなければ良いですし。 ちょっと話がそれますが、フィールドデーコンテストと言ってるのにホームステーション同士の交信も得点になってしまうのはどうかと思えます。酷暑の上高齢化が進み、動くのは大儀だし暑いのでエアコンの効いた家から出ればという局が増えるんじゃないかとも思えます。そうならば普通の？コンテストと変わらんと思う訳です。であれば、フィールドデーコンテストと言うのをやめて新たなコンテストを8月に企画した方が良い気がします。		
J17OED							○	10月中旬は台風の時期と重なり、移動運用が不可能になるから。 意見 屋外で猛暑の中での設営となるのを避けるため、フィールドデーコンテストの開始時刻を21時に変更して頂きたい。		
JA3WDL							○	日程案の両案とも賛成できません。入れ替えに反対します 理由 夏は暑く、冬は寒いこれが、日本では一般的です。会員の何人からの「異見」があったのでしょうか。むしろ、開催時間を21時からに戻す必要があります。変更後のF/Dを実施して いますが、参加局の意見欄は開始時間を戻して下さいが、(変更依頼の意見に比べ) 多かったですね。また、F/Dの固定局同志の交信は(OKですが)無得点としてください。これも、実質元に戻すことを書き加えます。		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JA3EBT								<p>全市全郡コンテスト(ACAG)と日程の入替を検討されているようですが反対です。</p> <p>理由: FDコンテストを10月中旬となると、ちょっと寒いんじゃないですか。個人で車の中でエアコンならまだしも、クラブグループでの移動ではテント設営で風は入りばなしになりいくら温暖化といえども、深夜から早朝は耐えがたき寒さになると考えます。</p> <p>コンディションも8月の方がEスポも期待出来ますが、10月中旬は期待薄になると思います。8月上旬は町中の地上では35度の猛暑でも5~600mの山上であれば30度を切り、夜になればそよ風も吹き、快適に過ごせます。早朝の冷え込みも上着を一枚増やすだけで過ごせます。台風襲来での危険遭遇に付いては8月にも10月にも同程度の頻度で来ております。どちらの月が多いかは、なんとも言えないと考えます、危険度はその時の台風次第と思います。</p> <p>どうしても変更したいとなると、6m & Down(6D)コンテストとの入替えという事も有り得ますが、参加局の多いFDを考えますと、また夏休みという時期は学生も参加しやすいし、6Dとの入替はしない方が良く考えます。</p> <p>FDの開催日程よりも開催時間帯を元に戻せませんか。グループで移動した場合の親睦会の時間が取れないのと、終了時間がまだEsが出ているのにやむなく終了は無念です。</p> <p>それと固定局同士の交信は得点をゼロにしてマルチだけポイントを付けるとかにしたらと考えます。</p>		
JA3EIZ								<p>昨今の颱風状況を見ても移動運用時遭遇する確率が高い。</p> <p>この時期、北海道や移動運用DXIに適した高地では気温の低下が激しく移動時の事故等を考えると移動運用に適さない。日本全国で移動運用が出来るのは夏のこの時期だろう。</p> <p>暑さが原因というのであれば、それなりの対策を取れば良いのではないか。</p> <p>学生諸君も夏休みということで一泊の野外運用の時間を取りやすい。ちなみに野外活動の最たるボーイスカウトのジャンボリーも夏場行われている。</p> <p>こういう団体と時期が合えば呼びかけるのも若い人への呼びかけになって良いのではないだろうか。</p> <p>https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B8%E3%83%A3%E3%83%B3%E3%83%9C%E3%83%AA%E3%83%BC</p> <p>開始時間も従来の時間に戻してほしい。遠地へ移動した時、準備時間が十分に取れない。</p> <p>何故このような時間に突然決まったか、コンテスト委員や理事の中でも知らなかった人が多数居ると聞く。一部では委員長が夕暮れのローバンドをしたから勝手に決めたとの噂も聞く。もっと委員会で審議されている内容が平会員にも判るようにしてほしい。</p> <p>このような運営の仕方が会員が離れていく原因の一つになっているのではないか。</p> <p>ホームステーション同士の得点のあり方も再考を要する。これでは他のコンテストと同じで移動運用を広めるフィールドデイの意義から離れていく。固定局有利の採点方法である。</p> <p>願わくば、寄せられた意見を全てWEB上で公表してほしい。</p> <p>どのような意見が有って、結果が出たのを知りたいと思うのは私だけでは無いだろう。</p>		
JE8KKX								<p>・全市全郡コンテストの時期の10月上旬は、気温が低く野外活動の適期ではない。北海道では年によっては、平地でも降雪がある。</p> <p>・移動運用に適する場所への道路が10月上旬より冬季閉鎖される。</p> <p>・3ヶ月も違う時期に変更すると、過去のFDコンテストとの記録の継続性がなくなる。</p> <p>・季節的にHFハイバンドの電波伝搬状況が悪い。</p> <p>・8月の野外活動で、熱中症等の問題は関東以西だけの問題ではなく、北海道、東北でも同様である。暑さの問題だけで開催時期を変更すると、北海道では野外活動ができず、不公平である。天候不順による参加不可能はその年の突発的な回避できない問題として容認できるが、恒久的な時期変更は季節的に絶対的に参加不可能であり全く容認できない。</p>		
JA1MJN								<p>フィールドデーの目的から、標高の高い場所への移動となり、10月の夜間は関東地方の山でも寒く、防寒対策が必須であり、防寒対策による事故の危険が伴います。ACAGを8月とした場合でも、関東圏の住宅事情では移動局は多いと思われ、熱中症対策は同様です。また、8月は比較的休みが共通で取りやすく、移動する動機付けにもなると考えます。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JA1MUY							○	「8月のFDコンテストは、学校クラブや地域・職域クラブなどで親睦を兼ねた行事として定着している」と思います。また、10月になると運動会や行楽を予定する方も多くなると思います。「8月にはフィールドで運用できた場所も使用できない」なども考えられます。数年前には私も体調を崩したこともありますが、周りの仲間で気をつけながら運用したこともありました。「親睦を深めながら、一緒に参加する仲間の健康も考える」のは、若い方の参考にもなるのではないのでしょうか？ 開催時間:21時から15時 ※以前は21:00スタートでしたので、参加する方の様子を見ながら設営して、15:00の終了後に熱さの程度を考えながら撤収していました。今年も参加しましたが、3時間時間を早めることによって、設営及び撤収が危険な時間帯になってしまったように思えます。		
7L1RLL							○	日程変更には反対 理由 1)高山、北国など平均的に気温が低い地域では、夏場でなければ移動運用不適切。実際、関東地方の平地は暑いが850mの山では、夜間・降雨時には夏姿では寒い。 2)平地での参加なら、日陰、風など冷却手段を人工的に整えるのが良い。		
JA1ZBW							○	・熱中症リスクの高い期間に野外運営をする事を問題視しているようですが、10月開催は、防寒対策で装備が重くなったり、乾燥による山火事リスク増が高いと思います。 ・高校クラブの場合、荷物の運搬は親御さんに車を出してもらわない限り、難しいです。防寒対策の装備が追加になると更に負担が増加します。		
JG2TSL							○	・10月は台風シーズンであり、逆に天候に左右される。 ・10月だと、高い山への移動運用が不可能となる。富士山山頂移動など。 ・できれば、21時～15時に戻してほしい。土曜日が休みでない人は18時スタートでは参加できない。		
JA1QQU							○	温暖化のためか台風や異常気象が9月、10月に発生する傾向が増えています。 今年2019年の全市全郡コンテストは、壊滅的な台風に見舞われ、屋外移動運用を予定していた局は、当局も含めて、参加を断念しました。比して8月上旬は比較的安定した気候にあります。2019年フィールドデーに野外から参加した局は良い成績を得られたのではないのでしょうか。 一般にフィールドデーは、山・湖・川など、暑さを避けて涼しいところに移動して行うことにしている局が多く、都市部での熱中症の発生数を根拠にするのはおかしいと思います。 当局が属しているクラブ局は、海拔約900mに例年移動しています。ふだん、職場や在住場所の関係から会うことが少ないメンバーが各所から集まって懇親しながらコンテスト参加しています。フィールドデーに都市部で参加している局(移動しない局)は、一般にエアコンの効いた屋内で運用しています。		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JH1YDT							○	<p>学校社团局や青少年アマチュア無線家*4への運用機会確保の面で、コンテストの開催日程は重要な要素である。特に、移動運用の機会は、学期中では難しい場合もあり、夏休み等の長期休暇が貴重なチャンスである。また、秋の行楽シーズンでの移動運用は、一般観光客との衝突も懸念されるため格段の配慮が必要である。また、気候変動による台風の大型化や、今年の十月の台風上陸を考慮すると、十月に移動運用をテーマにしたコンテストの開催は、適切ではないと思われる。</p> <p>一方で、同じく気候変動による近年熱中症の危険性が特に高まっており、対策は不可欠である。そこで、本件については、以下に挙げたような対策を実施することを提案したい。</p> <p>1. 以下の3つのうち、いずれかを実行する。</p> <p>a フィールドデーコンテストを廃止し、ALL JA コンテスト及び6m and Down コンテストに、移動運用局部門もしくは移動運用局表彰を設ける。</p> <p>b フィールドデーコンテストを廃止し、全市全郡コンテストを8月(現在フィールドデーコンテストの行われている日程)に実施する。現在全市全郡コンテストが行われている日程には、新たに、移動運用を推奨しながらも行楽地でも一般観光客と衝突しない企画を開催する。具体的には、アマチュア無線の対外的PR・それぞれのアマチュア無線家が自らの無線技術の興味に基づいて行った自己訓練及び技術的研究の成果の、コンテスト(またはそれに即した)運用という形での発表ことを目的とし、一般観光客との衝突の懸念を寧ろ好機とする。</p> <p>c フィールドデーコンテストおよび全市全郡コンテストの日程の変更を行わない</p> <p>2. 1でaまたはbを実行した場合は、青少年にとって夏休み・冬休みにあたる8月・12月に、青少年アマチュア無線家の運用を奨励する期間を設け、青少年アマチュア無線家に対する運用機会を確保する。</p> <p>3. 1でcを実行した場合は、開催時間を土曜18時から日曜10時まで短縮することによって、熱中症のリスクが高まる準備・撤収の時間を最も気温が上がる時間帯から外す。</p>		
JK1JHU							○	<p>10月は国内コンディションが8月に比して低下し、移動の手軽な設備では十分にQSOが成立しない。特に都府県支庁マルチのFDは、全市全郡に比しマルチがとれず、ゲーム性を損なう。夏場に長時間野外で活動することは、参加者の健康上望ましくなく、特に寝不足による身体への影響が問題を大きくする可能性がある。参加者の高齢化も鑑み、18時間開催にこだわらず、時間を短縮することが良いと考える。</p> <p>例) 土曜18時～24時 + 6時～12時 の12時間 土曜18時～24時 + 6時～9時 の9時間 土曜21時～24時 + 6時～12時 の9時間</p> <p>レコードなど記録の継続性を問う意見もあるかもしれないが、既に開催時間の変更を行っており、継続性は損なわれている。全く新たなコンテストを創設するくらいに、ドラスティックに改正を行うべき。古いレコードは、もう破ることが不可能なものもあり、新たなレギュレーションで新たなレコードにチャレンジできる方が、参加動機付けがある。</p>		
JL1BWG							○	<p>日程案の2には6mANDDownコンテストを8月に実施することは熱中症予防上意味がないとありますが、全市全郡コンテストは時間が24時間と長く、8月の移すことは、当然、熱中症予防上意味がありません。8月は猛暑で移動は厳しく、他の日程に変更していただきたい。他のコンテストがあるでしょうが、何とか調整をお願いします。</p>		
JH1PVJ							○	<p>全市全郡コンテストに移動で参加する場合、24時間コンテストであるため体力的にさらに厳しくなる。暑さに対する対策としてはむしろ逆効果と感じる。暑さ対策という意味では、開催時間を21時～15時に戻した方が良いと思う。土曜日の朝から移動する局が多いと思うので、現状よりも設営時間に余裕が生まれ、体力的に楽になると思う。(特に大掛かりな設備のマルチオペ) また、開催時間を変更する場合、モーニング部門を9時～15時にすると、2日目からの参加局も増えると思う。また、10月に移動推奨のコンテストの開催は、台風が直撃しやすいことを考慮すると問題があると考え。現に、昨年(2018)、今年(2019)ともに台風の直撃により移動運用ができなかった。</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
7K1PEO								<p>私は移動運用を専門に4大コンテストに参加しています。コンテストを始めた頃はお手軽設備でしたが、少しでも電波を遠くに飛ばしたい。少しでも得点を増やしたい思いから設備を強化し、現在では手軽に準備出来なくなってきました。そこでFDコンテストとACAGコンテストの入れ替えとなると夏に24時間フル参戦となり、とてもではないが体力が持ちません。21時終了とすると当日は自宅に帰ることが出来ませんので次の日撤収となりますが、今の移動スタイルではまたギンギンの太陽の中での撤収ですから結局同じことです。であれば現状のままでよいということになります。当初、開始時間が21時から18時変わった時、非常に違和感を覚えました。</p> <p>18時開始である夕食も取りづらく、いつものパターンが狂った為です。しかし、撤収を12時としたため、早く帰れることになり、(それでも2019年のFDは完全に撤収したのは19時でしたが。)非常に楽になるとわかりました。結局の所、21時開始も18時開始も慣れの問題で特に気にならないと思います。21時開始だと開始当日はゆっくりできるなど。反対に翌日は15時終了なので撤収に7時間かかるとすると完了が21時なのでムリをして自宅に帰ることになるなど。ただ、開催時間の18時間と24時となると話は別です。6時間も連続して運用となると非常に体力の消耗となり逆に危険です。(一応、24時間連続して運用することを目標としています。←そうならない場合もありますが。)</p> <p>従って、FDとACAGの日程の入れ替えは反対します。</p>		
JP3ELG								<p>FDコンテストは、現状の8月が良いと思います。10月にバーベキューは似合いません。</p> <p>また、時間帯も、以前の時間帯(21時スタート)が良いと考えます。18時スタートの場合、夕食を採る時間が早すぎますし、一番暑い時間帯に設営を行う必要が出てきます。</p>		
JL1LOF								<p>①6m AND Downコンテストで少なからずの移動局を考慮し全市全郡コンテストで移動局を考慮しないのは筋が通らない。</p> <p>②全市全郡コンテストはHF帯が利用でき標高の高い場所でもなくとも気軽に移動運用で楽しむ人は多い。</p> <p>③8月に全市全郡開催なら移動局には24時間移動となり熱中症予防上意味がない。むしろリスク増加となる。</p> <p>④フィールドデーコンテスト21時から15時開催でも炎天下の設営・運用は変わらない。</p> <p>⑤21時から15時開催で熱中症予防となるなら時間の変更はやむなし。</p> <p>⑥本来はフィールドデーコンテストのみ日程変更が一番の解決策だと思う。</p> <p>⑦国内コンテストと日程が重複するならその主催者と相談はできないのか？</p> <p>(重複するコンテストの日程変更のほかフィールドデーコンテストの中に重複コンテストを組み入れる等)</p>		

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JR8LRQ							<p>1.気候について 「10月中旬は温暖で、野外活動の適期である」という理由は日本全国に当てはまらない。少なくとも私の居住する北海道においてこの時季は最低気温が一桁台であり、初霜も観測されることから野外活動の適期とはとても言えない。また、別の理由に「梅雨期」を挙げて7月上旬を不適當と結論付けられているが、10月は台風の時季であり、梅雨よりも移動運用の支障となりうる。今年の全市全郡コンテストは台風19号の直撃を受け移動運用を諦めた参加者が多かったと聞く。私も移動運用を諦めた一人である。</p> <p>2.移動運用する局について 日程案のとおりとなったとき、全市全郡コンテストに移動する局が参加する場合は単純に開催時間が長くなる他、夜間の危険を避けて撤収を終了日の翌日としたならば、夏季の高温な環境下に現状よりも長時間晒されることが容易に予想できるのにこのような案が提示されるという事は、固定設備を持たずにコンテストに参加する局への考慮が全くなされていないと言わざるを得ない。</p> <p>3.コンディションについて 10月はHFハイバンドが国内に開けず使えないことが殆どであり、この時季にフィールドデーコンテストが開催された場合、主戦場がHFローバンドになることから固定局と比較して設備の限られる移動運用局が運用しても局数・マルチ共に低調な結果となると予想され、本来主役であるはずの移動運用局が満足に戦えない。また、使えるバンドが少なくなるということは多くのマルチが獲得できないことを意味しており、直接波の届く範囲に交信相手がいる都市部とコンディション頼りの地方とではマルチ格差が広がり競技性が著しく阻害されるとも考えられる。DXコンテストの真夏の開催はふさわしくないと言及しているのに、秋の国内コンディションに触れていないのは片手落ちであり、その理由が何故なのか理解に苦しむ。</p> <p>4.最後に 突然の意見募集に戸惑いを感じる。入れ替えの理由とその手法についても到底納得できるものではなく本当にコンテスト委員会の総意なのか疑わざるを得ない。今回の提案が結論ありきの意見募集ではないことを切に願う。</p>			
JH1ASG							<p>○ 屋外コンテストですので、天候が非常に重要です。酷暑の8月、台風の10月のうち、「どちらがFDコンテストができるか？」を考えると、FD、ACAGとも今のままとせざるを得ません。</p>			
JH5GHM								<p>AA DX CWあるいはAA DX SSBとの日程入れ替えはすべきではない</p>	<p>DXコンテストのどの週末への変更は対外的に大きな混乱を招き、海外局が参加すらできない国内コンテストの都合で変更すべきではないため。30年前ならまだしも今や世界における日本のアマチュア無線のプレゼンスは相対的に退化している状況において国内の都合だけで変更するのは過去にとらわれた単なるおごりではない。 AA DX CWやAA DX SSBが変更対象の俎上になること自体JARL関係者あるいはDXコンテストの状況を理解できていないあらわれでもあり、猛省を促したい。</p>	
JQ1BVI								<p>どちらでもあまり変わらないのでは？</p>	<p>現状よりは前の時間が良い。さらに言うのであればFDコンテストは9時-18時とすれば良いのでは？（運用時よりも、設営、撤収時に体力を消耗するため。）</p>	
JA7FKF								<p>どちらでもいい。</p>	<p>但し、10月となれば北海道、北日本の低山でも気温がだいぶ下がります。凍死することは無いでしょうが、低体温症の心配は起こりえます。</p>	

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JH1EAF										<p>コンテスト自体に積極的に参加している訳ではないので競技として変更の可否がどう成績などに影響してくるかは判らない為、なんともいえない。</p> <p>ただ、競技としてだけではなく、FDコンテストを旅行の一環での屋外移動運用や親睦、イベントに組み込んでいる場合、夏休み期間を外すと、日程を組みにくくなる可能性は少なくない。また、暑さに関しては年によって変動が大きく、基本的には各自自己責任で管理する事案とも思う。更に時間帯も数年前、暑さ対策を理由に開始時間を3時間前倒し変更されたが、あまり意味があるとは思えなかった。</p> <p>むしろ、公共交通機関を利用した日帰りのFDコンテスト参加者にとっては、2日目正午終了では、始発で出発したとしても運用地到着した頃には開催時間終了があっという間に迫ってしまい、弊害しか感じなかった。基本的にモービル運用、大アンテナ設置参加者中心に規則を考えられているようだが、徒歩QRPポータブル機参加者も少なからず存在することも考慮願いたい。さらに変更理由として10月中旬が屋外活動の適期とあるが、むしろ秋の長雨や台風で移動運用に適さない年もあり、暑さを理由に変更するのと同じく、特段の合理性があるとも思えない。</p> <p>全市全郡コンテストでも移動する参加者も多く、入れ替え自体がどういう意味を持つのか、あまりよくわからない。</p> <p>基本、熱中症対策は自己責任明記でよいのではないかと「熱中症対策」に重心を置きすぎるとアマ無線の楽しみ方の選択肢を狭める弊害のほうに気がなります。</p>
J17GBI										<p>FDと全市全郡は「入替ではなく、統合すべき」。</p> <p>新FDコンテストとし、10月に行う。時間は18時から12時。コンテストナンバーは市郡区で、移動局は得点係数を掛ける。</p>
JL1JAH										<p>8月の熱中症対策としてFDコンテストを移動させることは賛成です。ただ、10月に移動させることは以下の点から反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候が良いといっても、10月は台風シーズンです。今年の全市全郡も超巨大台風の中で実施になるかもしれません。このような中、移動を条件とするコンテストの開催には反対です。 ・夏休み期間の合宿や親睦を兼ねたコンテストということで長年親しまれています。土日開催となると、学校クラブ(特に高校クラブなど)は合宿の許可が下りず、参加できない可能性があります。また、全市全郡コンテストを8月にすることは、移動する局のことを考えると熱中症対策にはなりませんので、こちらも反対です。・代案として以下を提案します。 <p>全市全郡コンテストは今のまま FDコンテストは5月連休に移動。</p> <p>理由:5月は以前は飛び石連休でしたが、現在は3日~5日は連休となります。これは、現在のコンテストスケジュールが決まった後にできた休みですので、ここを使うのは理にかなっています。また、気候が暖かくなり、移動運用にも最適の時期と考えます。問題点は、ALL JAが近いことです。ALL JAは4大コンテストの中では固定局が多いと思われます。このコンテストを8月に移動させるのも一案かと思えます。</p>

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JO1KVS									<ul style="list-style-type: none"> ● FDコンテストと全市全郡コンテストの入れ替え: その他意見 ● 入れ替えに賛成の場合、開催時間: その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● FDコンテストと全市全郡コンテストの入れ替え: その他意見 ● 基本的には真夏の一番過酷な時を避けるという点では賛成できますが、真夏の一番過酷な時に世の中は海や山へのレジャーに出かけているわけで、それは今後も変わらないであろうから、FDコンテストにも出かける時期として適していないわけではないと考えます。でも、毎年夏、では心配もごもつとなので、毎年入れ替える(2年に一度夏に行う)というのはいかがでしょうか。 ● 入れ替えに賛成の場合、開催時間: その他 ● フィールドデーは屋外活動なのですから日中のお祭りとするべきでしょう。これまでの午後9時開始と言うのはフィールドデーとしてはおかしな時間だと思います。各自自分の足で登ったロケーションからQRPで運用するのが本来の姿かと思えます。夜中も開催すると宿営禁止の山頂を夜通し占拠することにもなってしまいますし大変危険です。土・日両日も運用時間は午前8時から午後3時(夏)まで。安全に設置し撤去、下山が出来る時間とすべきで、秋の開催ともなれば午後1時で終えないと下山中に闇になってしまいますので、開催時間は必ずすべきでしょう。
JJ1MRC									<ul style="list-style-type: none"> ● 全市全郡コンテストとの入れ替え: その他意見 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動局の免許範囲で行うこととすることで、屋外での運用は自己責任で良いと考える。
JG1SNX									<ul style="list-style-type: none"> ● 参加したことがないので要領を得ないが、猛暑時期を避けるのは当然。夜間であっても猛暑時期であれば危険 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野外運用が趣旨ならば、気候のよい、5月ないしは10月を中心に考えればよいが、5月がベター。10月の野外は虫が多いし、日没も早いから。
JH4OUH									<ul style="list-style-type: none"> ● 5月～6月に日程変更 	<ul style="list-style-type: none"> ● このコンテストは、移動運用がメインになる。10月では寒くなるため油りかけの運用に支障が出る。特に、VUHFで参加する局にとっては、移動による遠距離交信を目指しており、10月のコンディションは厳しい。開催時間は、現状の18時を15時に前倒し、09時終了にする。
JA7NPV									<ul style="list-style-type: none"> ● この入れ替えについては、疑問を感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月の移動が熱中症の危険と関連し変更するのはどうかと思う。全市全郡コンテストでも移動する局はあると思うし、アウトドアを兼ねた伝搬実験として楽しむための移動が増えたのでは同じことでは？結果、どちらにしても移動局に関しての行動は同じになるし移動の事故を配慮するJARLは事故の責任を取らないのであれば野外活動の責任は個人、各クラブの責任でいいのでは。結論としてFDは、現行通りの8月開催でいいのではと思う。仮に8月の全市全郡は理解したにしても、10月のFDではHF帯は楽しめるが、ここ近年VHF帯運用局の減少で更に10月開催ではFDの魅力は更になくなる。それと、日本は南北に長い。東日本7、8、0のエリアは日も短くなりまた、伝搬を有利に稼ごうとする山間高地では気温も下がるため、親睦を図る目的も含むFDの参加の東日本エリアは減少すると思う。でなくても、VHFでマルチ局数を稼げる関東エリアだけが有利で、地方エリアの局数は伸びない。いずれにせよ、変更の目的は健康上の問題を考慮してのことだと思うが、そもそも、それがコンテスト参加局減少の歯止めにつながるのか？疑問である。
JR6KBF									<ul style="list-style-type: none"> ● 反対しない。開催時間: いずれでも構わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● なお、案どおりに日程が変更された場合は、FDコンテスト開催時の野外での活動が安全になる以上、同コンテストの目的(JARLコンテスト規程第2条「野外へ移動して運用するアマチュア局との交信をはかるため」)に反する(百歩譲っても目的に合致しない)ホームステーション同士の得点は0点とすること(以前のルールに戻す)は当然に必要。
JF2QNM									<ul style="list-style-type: none"> ● 6月 AADX CW 7月 6m&down 8月 全市全郡 9月 FD 10月 AADX phone 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10月にFDでは、北海道などが雪。AADXがよい。全市全郡、FDは、国内が飛ばばよいから、Dxが効く10月は勿体ない。

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JR8DAG									どちらでもありません	北海道では8月開催であっても特に暑くて困るということがないため。10月の北海道は夜間が寒くFDコンテストの開催には適さないということもある。
JH2UVB										<p>全市全郡を8月に入れ替えても、昼間の運用は同じで熱中症対策にはならないので、基本8月のコンテストは無しがいいと思う。9月のAA DX Phoneは温暖化で、海外DXは望めないで10月に変更がいいと思う 変更提案月</p> <p>6月 FDコンテスト・・・HFハイバンド国内が開けている。</p> <p>7月 6m AND DOWN コンテスト・・・現状通り 夏のEスポが楽しめる。</p> <p>8月 なし・・・何かを入れ替えても夏場、暑さ真最中はコンテストは控えた方がいい</p> <p>9月 全市全郡 コンテスト・・・ALL ASIANと入れ替えの為</p> <p>10月 ALL ASIAN DX (Phone) コンテスト・・・9月は年々温暖化の為、秋のDXとはいかないので10月に変更を希望 最近はまだDXは開けていない。</p>
JR6IKD										<p>希望: 日程についてそのまま時間で土曜日の21時から日曜日の15時でお願いしたいです。</p> <p>理由: 全市全郡コンテストの時期は北海道等は寒く凍傷になる事も懸念される事から日程はそのまま時間帯だけ短縮する形で明るうちに設営及び撤収出来れば良い良いと考えました。</p>
JO1KTD									フィールドデー移転賛成、全市全郡の8月移転反対	<p>全市全郡コンテストを8月に行うと、いわゆるJCC/JCGベディン組の参加が減ることが予想される。また夏休み中の固定運用を中心としたコンテストとなるため、中学高校のクラブ局が校舎から参加することには困難が予想され、青少年ハムの育成上もマイナスが懸念される。一案としてXPOコンテストを(大阪万博開幕の)3月に移していたら、9月中頃に全市全郡を移すというのは如何だろうか。なおフィールドデーコンテストの日程入れ替え後の時間については、昼間を1日だけ使うほうが参加しやすいので21時～15時を支持します。</p>
JR1SIM										<p>8月の暑さ対策として屋外の活動をひかえるのは「フィールドデー」という言葉にとられすぎている。目的を「夏季休暇時の親睦を図るため」として「サマーコンテスト」と改称し、局種係数として優遇するのは「商用電源以外の使用」に限定すれば十分である。</p> <p>10月上旬頃はスポーツ関係の行事が多く、高校などの学園祭がこの前後の週に集中しているので、「FD」をもってきたら高校生などの若手ハムが二学期中に校外活動をする事となり、年少者の参加が見込めなくなる。</p>

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JR1BQJ										<p>1.日程は8月で以前の土曜日移動して参加している。(下表 1-1参照)フィールドデイは秋にして、全市全都をこの時期にやると言う事は、熱中症対策になっていないのではないか?それとも、全市全都は移動しての参加を認めないと言う事なのか?この25%の中には、移動運用でしか電波を出せない局もあることを忘れないで欲しい。</p> <p>2.ホームステーション同士の交信ポイントを0点にする。</p> <p>1-1.貴委員会の理由2項には、6m&DOWNコンテストだけに触れているが、全市全都コンテストでも25%程度の局が移動して参加している。(下表 1-1参照)フィールドデイは秋にして、全市全都をこの時期にやると言う事は、熱中症対策になっていないのではないか?それとも、全市全都は移動しての参加を認めないと言う事なのか?この25%の中には、移動運用でしか電波を出せない局もあることを忘れないで欲しい。</p> <p>1-2.若年層の会員を増やそうとのJARLの方針にあるが、流出を防止することも重要と考える。学校等のクラブ活動として、合宿を行うには夏休みがやり易いと思われる。</p> <p>1-3.熱中症は、屋外より屋内の方が発生件数が多い。厚生労働省「平成30年度職場における熱中症予防に関する講習会」資料参照高齢になるにつれて感覚が鈍くなりエアコンを使わない等良く聞く話である。無線に夢中になればなお更だ。</p> <p>1-4.時間の件だが、移動運用を前提として考えるとアンテナ・無線機設置 食事準備1～2時間 食事・ミーティング 1時間 食事がたずけ0.5時間 合計2.5～3.5時間となる。18時スタートでは、炎天下の一番暑い時間から準備となり、それこそ熱中症になるリスクが高くなる。また、暑さで注意力が散漫になり、開始時刻までの余裕も無いためケガや事故も起こしやすい。15時以降から準備を開始するのであれば暑さもやらぎ、時間に余裕を持って準備ができる。終了時刻も15時であれば厚さのピークを過ぎたころから撤去作業となり明るいうちに完了することができる。18時開始 12時終了と3時間ずらしたことにより、一日で一番暑い時刻に準備と片づけをすることとなった、時間の変更をした理由がまだ解らない。</p> <p>1-5.体力的な点から考えると0時～6時は休憩時間を設ける。ことを提案する。時間については、検討をお願いします。</p> <p>2-1「FDコンテストの目的は「野外に移動して運用するアマチュア局との交信をはかるため」となっています。」と委員会の見解にも書かれてある。であればホームステーション同士の交信でポイントが入るのは、矛盾している。目的に沿った規約改定を望みます。現状の規定では、ALL JAIに6m&DOWNをプラスしたようなもので、フィールドデーコンテストの意味をなしていない。</p>

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由
JE7IDA										<p>(1) 学校の日程の過密化が今後さらに進むため、情報を集め慎重に検討したい 国家試験受験含め調整が難しくなり、無線以外のクラブでも支障が出始めています。大学入試改革に伴う英語各種試験の導入等でさらに過密化と変更が続き、例えば運動部のインターハイ参加も困難になることが指摘されています。</p> <p>(2) 学校クラブは10月の移動運用は難しいが、その場合は21時開始が適当 一般のクラブでは準備・設営ともに手分けしてできますし輸送手段も豊富ですが、高校クラブではそうではなく、入賞校では5日程度の合宿でレクリエーションも含めて余裕を持って楽しめるようにしているようです。フィールドデー10月開催では、移動参加の場合事故防止のためにも無理はせず大幅縮小とすることが多いでしょう。準備時間の確保のためにも開始時刻は21時とすべきと考えます。撤収は比較的短時間で可能です。また学校クラブは固定での参加が多くなることと思いますので、現行通りその場合でもじゅうぶんな経験を積めるようにしたいと思えます。</p> <p>(3) 全市全郡コンテストを8月とした場合参加が難しい学校クラブが多そうなので、10月のコンテストで新人がじゅうぶんな経験を積めるようにしたい 8月上旬は以前と違い高校生、大学生、教員ともに多忙となりました。また多くの地方では新入部員はまだ資格を取得していない時期です。11月から3月までは伝搬・規模的によい練習となるコンテストがあまり見当たりませんし、学校日程との兼ね合いもありますので、従来どおり10月の初コンテストで新人がじゅうぶん楽しみ経験を積んでALL JA コンテストに備えられるよう、フィールドデー10月開催とする場合は従来どおり固定での参加への配慮をしたいところです。近年地方では21MHz以上の電話はほとんど交信できない場合が多いこと、コンテスト開始直後は上級生を見て学ぶ時間帯となることから、適当なペースで交信でき初心者の練習に適しているのは7MHzの9～11時・13～17時ごろに限られてきました。12時終了ですと新人があまり練習できませんので、15時終了が適当と考えます。</p>
JK2XXK										<p>全市全郡は、現行の日程で開催。 フィールドデーは、(案1)5月第3週末か6月第1週末への移行を前提に、既存の国内コンテストとの入れ替えを視野に関係団体と協議を行う。(案2)オールアジアを6月第3週末に統合し(この場合、電信部門・電話部門・電信電話部門を設ける、IARU HFチャンピオンシップのような部門種目分け)、9月第1週末にフィールドデーを開催する。案1・案2ともに実施が無理であれば、現行の日程で開催する。 なお案2の場合、全般的なコンディション(特にV/UHF帯)は、現行日程よりも落ちることが予想されます。逆に案1なら、現行日程よりもよりコンディションの良い時期に開催できるメリットがあります。</p> <p>・開催時間 必ずしも18時間の開催時間帯を確保する合理的な理由は、特段見当たらないように感じます。開始時刻は、18時ですと夕方から夜にかけての好コンディションが期待できる点において一考の価値ありと考えます。個人的に、パーベキューなど親睦を図る企画のために21時開始、という理由は、コンテスト自体に対する合理的な理由ではないと考えられるものの、余裕をもった設営等(食事を含む)が行えるようにする点においては、これも一考の価値ありと考えます。なお終了時刻の12時は、暑い最中に撤収作業を行うというデメリットがあるものの、コンテストが早く終わる分だけ早く帰宅できるメリットがあり、現役世代には嬉しい配慮だと思います。</p>

コールサイン	賛成	理由	18時-12時	21時-15時	その他	理由	反対	理由	その他	理由	
JA3QOS									<p>このコンテストの日程変更には賛成しません。しかし示されている案には反対します。</p> <p>理由: この件は2012年にも回答しており、今もその考えに変更はありません。下記にコピーを示します。また今回の意見募集はあまりにも結果ありきであって、正しい方向の意見が出てくるようには思えません。</p> <p>要望: 下記引用の通り5月第3日曜日に変更する。また(FD本来の意義に立ち戻って)ホームステーション間の交信は0点に戻す。</p> <p>開催時間帯も元(21時から15時)に戻す。</p> <p>----- 2012-8-31 -----</p> <p>・コンテスト時期変更: 賛成します。</p> <p>理由: 確かにここ数年の天候状況をみますと移動運用が苦しくなってきたように思います。現在の開催時期をみますと4月のAJA, 6月のAA-CW, 7月の6D, 9月のAA-PH, 10月のACAGなどは動かすべきではないと考えます。そこで私の提案として、5月の第3日曜が良いのではないかと思います。従来JARL総会のあった5月第4日曜は国内の地方コンテストが無く良いように見えるのですが、海外コンテストとしてメジャーなCQWW-WPXがありこれに配慮して第3日曜を支持します。そしてこの場合国内地方コンテストを第4週に移動というのが現実的かと思えます。</p> <p>----- 引用終わり -----</p> <p>なおこの時の結果について発表があったのでしょうか。この3年後改訂された規約は全く想像できないものでした。どのような経緯であのような変更になったのでしょうか。</p> <p>その後機会あるごとに元に戻すべきとの意見も出しておりますが。</p>		
JE3PCX									意見無し	参加していないので意見無し。	
JA1UMW										不参加につきノーコメントです	
JI1ARI										参加していませんので意見はありません。	